エプソンプリンター共通

ネットワークガイド

本製品をネットワークプリンターとして使うために必要な情報を詳しく説明しています。

また、各種トラブルの解決方法やお客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。

目的に応じて必要な項目を参照してください。

本書は、ネットワークを標準搭載したエプソン製プリンター共通の説明書です。お使いの製品の仕様によっては、記載の一部が該当しないことがありますのでご了承ください。

オプションのネットワークインターフェイスカードを使うときは、オプションのネットワークインターフェイスカードに付属のマニュアルを参照してください。

NPD4711-00

2012年5月発行

マークの意味

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンター本体が損傷したり、プリンター本体、プリンタードライバーやソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 7 の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.7.x の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版

本書では、各オペレーティングシステムをそれぞれ Windows XP、Windows Server 2003、Windows Server 2008（R2 含む）、Windows Vista、Windows 7 と表記しています。また、これらを総称名として「Windows」を使用しています。

商標

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。EPSON ステータスモニタはセイコーエプソン株式会社の商標です。
Apple、Mac、Macintosh、Mac OS、OS X、Bonjour、ColorSync 、TrueType、Safari は Apple Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Java およびすべての Java 関連の名称は、米国 Sun Microsystems,Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
RSA および BSAFE は米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。
本製品 は、米国 EMC コーポレーションの RSA BSAFE® ソフトウェアを搭載しています。

PDF マニュアルの見方

Adobe Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Reader 9 で表示したときを例に説明します。

❶	PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
❷	前ページ / 次ページを表示します。
❸	表示中の文字が小さくて見えにくいときは（＋）をクリックすると拡大します。（－）をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。 **Windows の場合** PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューでマーキーズームを選択します。ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。 **Mac OS X の場合** Command キーを押したままスペースキーを押すとポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定します。
❹	参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。 元のページに戻るときは、以下のように行います。 **Windows の場合** Alt キーを押したまま←キーを押します。 **Mac OS X の場合** 表示メニュー - 移動 - 前の画面の順でクリックします。
❺	確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。
❻	クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。
❼	タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。

もくじ

設定の前に

ネットワークインターフェイスの機能や動作環境と、導入作業の概要などを説明します。

動作環境

本製品のネットワークインターフェイスの動作環境および印刷方法を説明します。本製品の対応 OS はプリンターのマニュアルを参照してください。

以下を参照して、お使いの環境に対応しているか確認してください。

OS	対応プロトコルおよび印刷方法	IPv4	IPv6*3
Windows XP Windows Server 2003*1 *2	TCP/IP（標準 TCP/IP 印刷）	○	×
	TCP/IP（EpsonNet Print 印刷）	○	×
	IPP（インターネット印刷）*1	○	×
Windows Vista Windows Server 2008*1 *2 Windows Server 2008 R2*1 *2(64 ビット版のみ) Windows 7	TCP/IP（標準 TCP/IP 印刷）	○	○
	TCP/IP（EpsonNet Print 印刷）	○	×
	IPP（インターネット印刷）*1	○	○
Mac OS X v10.5.x 〜 v10.7.x	EPSON TCP/IP	○	○
	Bonjour	○	○

*1 大判インクジェットプリンターは非対応です。

*2 オフィス向けインクジェットプリンターは非対応です。

*3 本製品が対応しているかは、プリンター本体の製品仕様を確認してください。

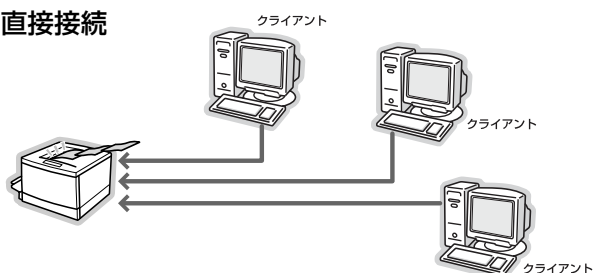
!重要 本製品をダイヤルアップルーター使用中の環境に設置するときは、必ずその環境のセグメントに合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われる可能性があります。

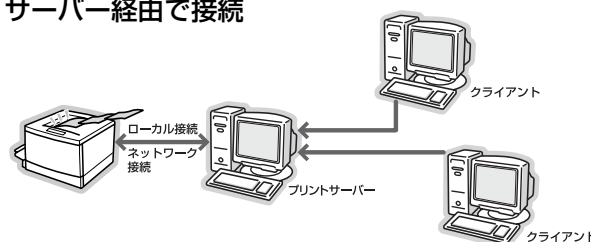
印刷環境の確認

本製品の設定を始める前に、以下を参照してお使いのネットワーク環境と手順を確認します。

接続方法の確認と導入手順

ネットワーク環境で本製品を使うには 2 つの接続方法があります。以下の説明を参考に、どの接続方法を使用するか決定してから導入手順を確認してください。

直接接続

長所： サーバー用コンピューターを用意する必要がない
短所： 各コンピューターにネットワーク印刷をするための設定が必要
利用に適した環境：SOHO などの小規模ネットワーク

サーバー経由で接続

長所： 印刷をする各コンピューター（クライアント）でネットワーク印刷をするための設定が容易
短所： 別途サーバー用コンピューターが必要
利用に適した環境：オフィスや学校などの大規模ネットワーク

直接接続や、サーバー経由接続でサーバーとプリンターを直接接続するときは、動作環境で印刷方法を確認します。サーバー経由接続でサーバーとプリンターをローカル（USB ケーブル）接続する場合は、プリンターのマニュアルを参照してサーバーとプリンターを接続してください。

印刷方法の概要と特徴

EpsonNet Print 印刷(TCP/IP プロトコルを使用)

- ネットワークインターフェイスの IP アドレスが、サーバーやルーターの DHCP 機能によって変更になっても、IPv4 アドレスを自動追従します。
- ルーターを越えた場所にあるプリンター(別セグメントのプリンター)を使用できます。
- 印刷データの送信プロトコル(LPD/Epson 拡張 LPD/RAW)を使い分けることで、印刷方法を3種類から選択できます。
- Windows のスプーラー画面の上部に、本製品のステータスを表示します。
- IPv6 アドレスには対応していません。

標準 TCP/IP 印刷(TCP/IP プロトコルを使用)

- Windows に標準搭載されている印刷方法です。
- ルーターを越えた場所にあるプリンター(別セグメントのプリンター)を使用できます。
- イベントビューアーを使用して印刷ログ(記録)が取れます。
- IP アドレスの設定が必要です。

インターネット印刷(TCP/IP プロトコルを使用)

- Windows に標準搭載されている印刷方法です(Windows Server 2008 はサービスの追加が必要)。
- プロキシサーバー(外部インターネットに代理接続するサーバー)を越えた場所にあるプリンターを使用できます。
- EPSON ステータスモニタや EPSON プリンタウィンドウ !3 は使用できません。
- IP アドレスの設定が必要です。
- ルーターやプロキシサーバーに対して、Port631 を利用する設定が必要です。
- サーバー経由接続の環境では使用できません。
- 大判インクジェットプリンターは対応していません。

EPSON TCP/IP 印刷

- サーバーやルーターの DHCP 機能によって変更になっても、本製品の IP アドレスを設定し直す必要がありません。
- 本製品を固定 IP アドレスで使用するときは、IP アドレスを手動設定することもできます。

Bonjour 印刷

- 本製品の IP アドレスが、サーバーやルーターの DHCP 機能によって変更になっても、設定し直す必要がありません。

接続方法と印刷方法が決定したら、コンピューター側のネットワークが設定済みなことを確認してから、ネットワークインターフェイスの設定に進んでください。

☞ 7 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

ネットワークインターフェイスの設定

コンピューターのネットワークが設定済みであることを確認してから、ネットワークインターフェイスを設定します。
ネットワークインターフェイスの設定を始める前に、プリンターが印刷可能な状態か確認してください。プリンターがセットアップされていないときは、プリンターのマニュアルを参照してください。

設定方法の紹介

本製品のネットワークインターフェイスを設定するには、2 つの方法があります。

- 本製品の操作パネルで設定する
- 付属のソフトウェアを使って設定する

各設定方法の詳細を確認して、設定方法を決定してください。

本製品の操作パネルで設定

本製品のディスプレイの表示を見ながらボタンを操作して、ネットワーク項目を設定します（ディスプレイの無い機種は非対応）。

設定できる項目は、各プロトコルの使用有無とアドレスの設定などで、設定できない項目（DNS サーバーの登録や SNMP など）もあります。設定できる項目は製品により異なります。

操作パネルで設定できる項目や、設定方法の詳細は、プリンターのマニュアルを参照してください。
その後、印刷するコンピューターを設定してください。
☞ 9 ページ「印刷をするコンピューターの設定」
操作パネルで設定できない項目は、付属のソフトウェアで設定してください。
☞ 21 ページ「設定ソフトウェア」

設定ソフトウェアで設定

ソフトウェアディスクに収録、または本製品のネットワークインターフェイスに内蔵の設定ソフトウェアは以下になります。

- EpsonNet Setup
- EpsonNet Config
- Remote Manager

各ソフトウェアの詳細を以下に説明します。

EpsonNet Setup

ウィザード形式で、簡単に IPv4 アドレスの設定ができるソフトウェアです。本ソフトウェアはソフトウェアディスクから起動します。起動した画面の指示に従って設定を進めます。
Windows では、IPv4 アドレス設定後にプリンタードライバーと EpsonNet Print をインストールして、直接印刷用のプリンターポートを自動作成します。
Mac OS では、IPv4 アドレスのみ設定します。

それ以外の項目（IPv6、DNS サーバーの登録、SNMP など）の設定は、EpsonNet Config で設定してください。
詳細はプリンターのマニュアルを参照してください。

EpsonNet Config

ネットワークインターフェイスの各種アドレスや名称などを設定するソフトウェアです。Windows 版、Mac OS 版、Web 版があります。
Windows 版、Mac OS 版はコンピューターにインストールしてから使用します。
詳細は、ソフトウェアのマニュアルまたはヘルプを参照してください。

Web 版はネットワークインターフェイスに内蔵されており、コンピューターの Web ブラウザーなどから起動します。ネットワークインターフェイスの設定のほかに、プリンターの消耗品の確認や給紙装置などの設定（インクジェットプリンターは非対応）ができます。ただし Web 版は、ネットワークインターフェイスおよびコンピューターに IP アドレスが設定されている環境でのみ使用できます。
使い方の詳細は、以下のページに進みます。
☞ 22 ページ「EpsonNet Config（Web）、Remote Manager の使い方」

Remote Manager

EpsonNet Config（Web）と機能はほぼ同じです。詳細は上記の EpsonNet Config（Web）版の内容をご覧ください。

印刷をするコンピューターの設定

ネットワークに接続した本製品に印刷するには、プリンタードライバーのインストールとプリンターポートの設定が必要です。ここではインストールと設定の手順を OS 別に説明します。

Windows

「印刷環境の確認」で選択した印刷方法に応じて、セットアップをします。

各印刷方法の詳細は、以下のページに進みます。

☞ 9 ページ「EpsonNet Print（LPR）で印刷する」
☞ 9 ページ「標準 TCP/IP（LPR）で印刷する」
☞ 14 ページ「インターネット（IPP）で印刷する」

Microsoft ネットワークプリンター共有で印刷する方法や、WSD を使用したセットアップ方法は各 OS の説明書を参照してください。

EpsonNet Print(LPR)で印刷する

EpsonNet Print ソフトウェアを使用して、本製品に印刷データを直接送る設定をします。
EpsonNet Print をインストールしてから、プリンターポートの設定やプリンタードライバーのインストールをします。
詳細は、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

標準 TCP/IP(LPR)で印刷する

ここでは、標準 TCP/IP 印刷（Standard TCP/IP）の設定手順を説明します。

1 **［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を開きます。**

Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリック

2 **［プリンターの追加］をクリックします。**

Windows Vista/Windows Server 2008：
［プリンタのインストール］をクリック

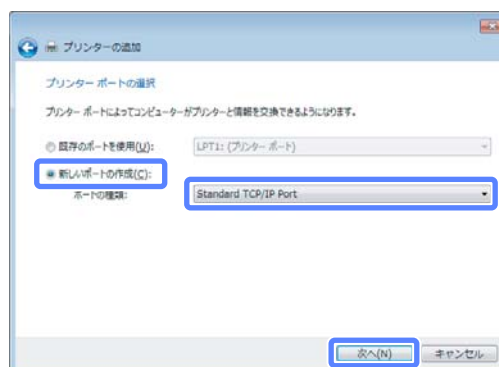
Windows XP：
［プリンタのインストール］－［次へ］の順にクリック

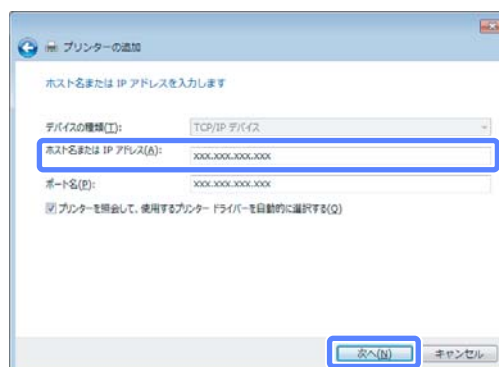
Windows Server 2003：
［プリンタの追加］をダブルクリックして、［次へ］をクリック

3 **［ローカルプリンターを追加します］をクリックします。**

Windows XP/Windows Server 2003：
［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリック

4 **［新しいポートの作成］を選択します。［Standard TCP/IP Port］を選択して、［次へ］をクリックします。**

Windows XP/Windows Server 2003：
［新しいポートの作成］－［Standard TCP/IP Port］を選択して［次へ］をクリックし、［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されたら、［次へ］をクリック

5 **［ホスト名または IP アドレス］項目にネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力して、［次へ］をクリックします。**

Windows XP/Windows Server 2003：
［プリンタ名または IP アドレス］項目にネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力して［次へ］クリック
［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了］画面が表示されたら［完了］をクリック

6 **［ディスク使用］をクリックして、本製品のソフトウェアディスクをコンピューターにセットします。**

7 **DVD/CD ドライブ名とフォルダー名を選択または半角文字で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。**

DVD/CD ドライブまたは以下のフォルダーを選択してください。

OS 環境	選択するフォルダー
32bit 版 Windows	WINX86
64bit 版 Windows	WINX64

参考 本製品のソフトウェアディスクによっては、各製品のフォルダー名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェアディスクのフォルダーを確認して入力してください。

ページプリンターを利用の場合

以上で終了です。

設定したコンピューターをプリントサーバー、プリンターを共有プリンターとして使用するときは、以下を参照してください。

☞ 54 ページ「プリンターを共有するには」

インクジェットプリンターを利用の場合

引き続きネットワーク用のモジュールをインストールします。

インクジェットプリンター用ネットワークモジュールのインストール

プリンタードライバーのユーティリティー機能（インク残量認識など）をネットワーク経由でも使えるようにするモジュールをインストールします。

1 **コンピューターに、本製品に付属のソフトウェアディスクをセットし直します。**

2 **ソフトウェア一覧から［Epson プリンタウィンドウ !3（ネットワークモジュール）］をクリックします。**

3 **この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。**

引き続きポート構成を確認します。

Windows XP/Windows Server 2003：

以上で終了です。

設定したコンピューターをプリントサーバー、プリンターを共有プリンターとして使用するときは、以下を参照してください。

☞ 54 ページ「プリンターを共有するには」

ポート構成の確認

Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7 で、標準 TCP/IP ポートを使用してネットワーク印刷をするときは、以下の設定になっていることを確認してください。この設定がされていないと正しく印刷できないことがあります。

1 **［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を開きます。**

Windows Vista/Windows Server 2008：

［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック

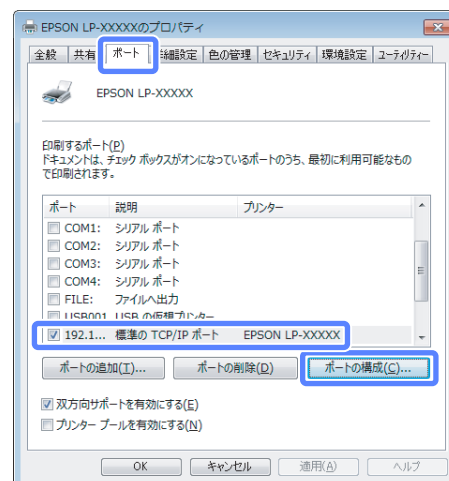
2 **対象プリンターのアイコンを右クリックして、［プリンターのプロパティ］をクリックします。**

Windows Vista：

対象プリンターのアイコンを右クリックして、［管理者として実行］－［プロパティ］の順にクリック

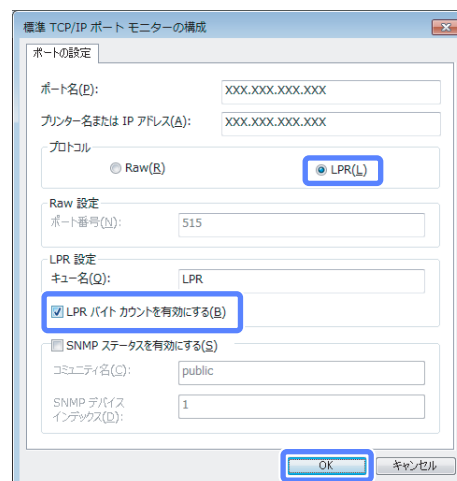
Windows Server 2008：

対象プリンターのアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリック

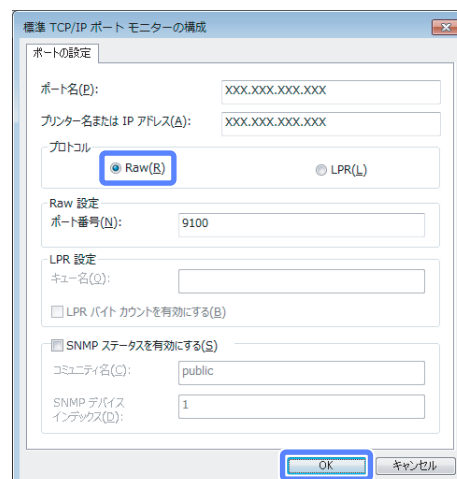
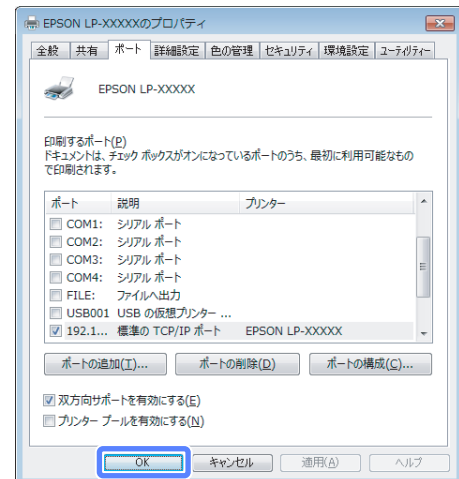
3 [ポート] タブをクリックし、[標準の TCP/IP ポート] を選択して、[ポートの構成] をクリックします。

4 ポートモニター構成が以下のどちらかになっていることを確認します。

LPR の場合

[プロトコル] で [LPR] が選択され、[LPR 設定] の [LPR バイトカウントを有効にする] にチェックが付いていることを確認

LPR の場合

RAW の場合

[プロトコル] で [RAW] が選択されていることを確認

RAW の場合

5 ［OK］をクリックします。

以上で終了です。

設定したコンピューターをプリントサーバー、プリンターを共有プリンターとして使用するときは、以下のページを参照してください。

☞ 54 ページ「プリンターを共有するには」

インターネット(IPP)で印刷する

ここでは、インターネット印刷（IPP）の設定手順を説明します（大判インクジェットプリンター非対応）。

!重要 Windows Server 2008 は標準インストールのままでは使用できません。インターネット印刷の追加が必要です。

1 **［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を開きます。**

Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］ー［コントロールパネル］ー［プリンタ］の順にクリック

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］ー［プリンタと FAX］の順にクリック

2 **［プリンターの追加］をクリックします。**

Windows Vista/Windows Server 2008：
［プリンタのインストール］をクリック

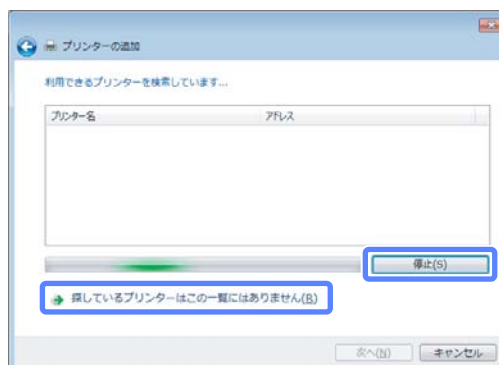
Windows XP：
［プリンタのインストール］ー［次へ］の順にクリック

Windows Server 2003：
［プリンタの追加］をダブルクリックして、［次へ］をクリック

3 **［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します］をクリックします。**

Windows XP/Windows Server 2003：
［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択して、［次へ］をクリック

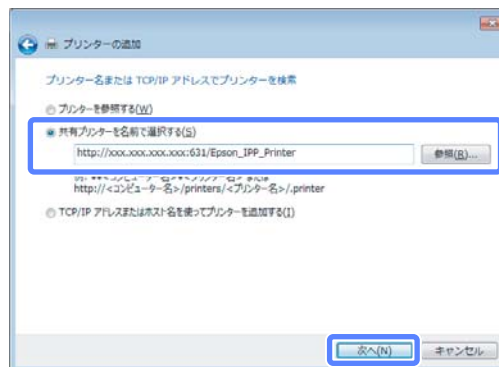
4 **［停止］ー［探しているプリンターはこの一覧にはありません］をクリックします。**

Windows XP/Windows Server 2003：
5 に進む

5 **［共有プリンターを名前で選択する］を選択して、ネットワークインターフェイスの URL を以下の書式で入力して、［次へ］をクリックします。**

書式） http:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス：631/Epson_IPP_Printer

IPv6 で使用するときは、ネットワークインターフェイスの IP アドレス部分を [] で囲ってください。

書式） http://[IPv6 アドレス]：631/Epson_IPP_Printer

Windows XP/Windows Server 2003：
［インターネット上または自宅/会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択し、ネットワークインターフェイスの URL を上記の書式で入力して［次へ］をクリック

上記の Epson_IPP_Printer は購入時の値です。ネットワークインターフェイスの設定値は、ネットワークステータスシートで確認できます。
☞ プリンターのマニュアル

6 **［ディスク使用］をクリックして、本製品のソフトウェアディスクをコンピューターにセットします。**

7 **DVD/CD ドライブ名とフォルダー名を選択または半角文字で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。**

DVD/CD ドライブまたは以下のフォルダーを選択してください。

OS 環境	選択するフォルダー
32bit 版 Windows	WINX86
64bit 版 Windows	WINX64

本製品のソフトウェアディスクによっては、各製品のフォルダー名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェアディスクのフォルダーを確認して入力してください。

以上で終了です。

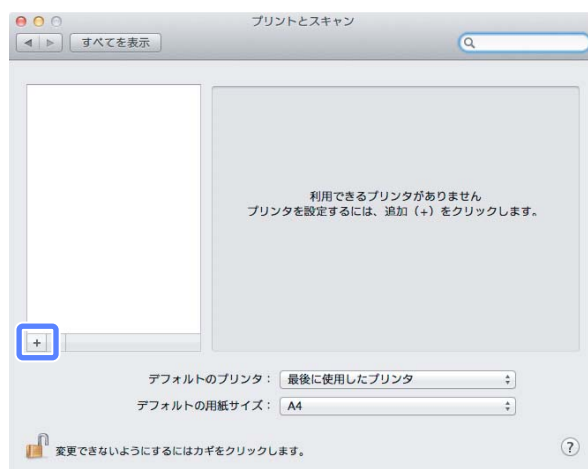
Mac OS X

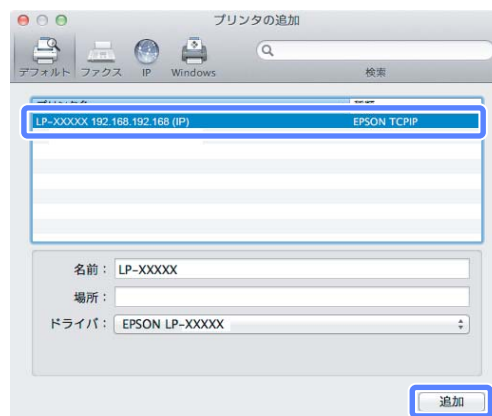
プリンタードライバーをインストールした後に、プリンターをセットアップします。印刷方法は、EPSON TCP/IP、Bonjour の中から選択できます。

1 **プリンタードライバーがインストールされていることを確認します。**
インストールされていないときは、プリンターのマニュアルを参照してプリンタードライバーをインストールしてください。

2 **プリンターの電源が入っていること、LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。**

3 **アップルメニューー［システム環境設定］から［プリントとスキャン］（または［プリントとファクス］）を開きます。**

4 **［+］をクリックします。**

5 **本製品をクリックして、[追加] をクリックします。**

[ドライバ] に本製品が表示されていないときは、本製品を選択し直してから [追加] をクリックしてください。

以上で終了です。

設定 / 印刷で困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法を説明します。

設定や印刷に関するトラブル

ネットワーク設定ができない / ネットワーク印刷ができない

操作パネルの［ネットワーク設定］でネットワークを使用する設定になっていますか？
ネットワークを使わない設定になっていると、ネットワーク通信ができません。ネットワークを使う設定にしてください。
☞ プリンターのマニュアル

ネットワークステータスシートが印刷できますか？
本製品の操作パネルの［ネットワーク設定］でネットワークを使う設定にしていないと、ネットワークステータスシートが印刷できません。設定を確認してください。
☞ プリンターのマニュアル

TCP/IP で使用するときは、コンピューターとプリンターが通信できていますか？
本書の「PING コマンドによる通信確認方法」を参照して、通信できているか確認してください。
☞ 64 ページ「PING コマンドによる通信確認方法」

通信できていないときは、以下の「ハブ、LAN ケーブルなどは正常に機能していますか？」や「TCP/IP で使用するときは、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されていますか？」を参照してください。

ハブ、LAN ケーブルなどは正常に機能していますか？
本製品の電源が入っていて、本製品を接続しているハブの、ポートのリンクランプが点灯または点滅しているか確認してください。リンクランプが消灯しているときは、以下を確認してください。

- ほかのポートに接続してみる
- ほかのハブに接続してみる
- LAN ケーブルを交換してみる

以上を確認しても通信ができないときは、本製品が故障している可能性があります。プリンターのマニュアルを参照してください。

本製品の設定に失敗していませんか？
本製品の設定に間違いがある可能性があります。購入時の設定に戻してから再度設定してください。購入時への戻し方は EpsonNet Config で［工場出荷時設定］または［リセット］を実行してください。パスワードを忘れてしまったときはインフォメーションセンターにご相談ください。

WSD を使用してセットアップできない

本製品は WSD に対応していますか？
プリンターのマニュアルを参照して、対応しているか確認してください。
☞ プリンターのマニュアル

本製品の WSD を有効にしていますか？
購入時は、WSD が無効になっています。
操作パネルか EpsonNet Config を使って有効にしてください。

ご使用のコンピューターの OS は Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7 ですか？
WSD は上記 OS の標準のプロトコルです。それ以外の OS では使用できません。

セットアップに失敗していませんか？
各 OS の説明書を参照してセットアップをやり直してください。

設定する IPv4 アドレスがわからない

本書の「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」を参照してください。

ネットワーク管理者がいるときは、管理者に確認してください。

☞ 51 ページ「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

設定した IP アドレスが変わってしまう

ルーターなどで DHCP 機能を使用していませんか？

DHCP 機能で本製品に IP アドレスを設定すると、プリンターの電源を入れるたびにコンピューターに設定したプリンターポートを変更しなければなりません。

以下のいずれかの方法で本製品に固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

- DHCP機能を持つ機器のスコープ(クライアントに割り当てるIPアドレスの範囲)の範囲外のIPアドレスを設定する。
- DHCP 機能を持つ機器のバインドを使用して、本製品を特定する。
- DHCP 機能を持つ機器で除外アドレスに設定する。

- スコープ範囲、バインド、除外アドレスなどの設定方法は、ルーターなど DHCP 機能を持つ機器のマニュアルを参照してください。
- 本製品をダイヤルアップルーター使用中の環境に設置するときは、必ずその環境のセグメントに合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われる可能性があります。

ただし、EpsonNet Print によるプリンターポートの設定や EPSON TCP/IP、Bonjour 印刷（Mac OS X で Bonjour を使用のとき）では DHCP 機能が使用できます。

本製品の［TCP/IP］－［IPv6 設定］画面で［匿名アドレスを使用する］を有効にしていませんか？

本製品の［匿名アドレスを使用する］が有効で、IPv6 ルーターを接続しているときは、ステートレス自動設定により、プリンターを起動するたびに変化するアドレスを使用している可能性があります。

以下の固定アドレスを使用してください。

- リンクローカルアドレス
- 手動設定アドレス
- プリンター起動ごとに変化しないステートレスアドレス

印刷に時間がかかる / データの末尾が欠ける

本製品と接続しているハブの通信モード（全二重 / 半二重）が合っていますか（インクジェットプリンター非対応）？

本製品の通信モード［Link Speed］は購入時［自動］になっています。ハブの通信モードが固定されていると本製品との通信モードに不整合が発生するため、印刷速度が異常に遅くなったり、タイムアウトによって末尾のデータが欠けたりします。ハブの通信モードを確認して、本製品の操作パネルで［ネットワーク設定］－［Link Speed］を変更してください。

☞ プリンターのマニュアル

Mac OS に関するトラブル

プリンターの追加で本製品が表示されない

プリンタードライバーをインストールしていますか？
プリンターのマニュアルを参照してプリンタードライバーをインストールしてください。

コンピューターにネットワーク設定をしていますか？
各プロトコルによって設定が異なります。以下の設定になっているか確認してください。

- EPSON TCP/IP の場合
  ［システム環境設定］の［ネットワーク］で、各種アドレスが設定されているかネットワークインターフェイスに工場出荷時以外の正しい IP アドレスが設定されているか。
- Bonjour の場合
  EpsonNet Config（Mac OS）［ネットワーク I/F プロパティ］画面の［TCP/IP］－［Bonjour］で［Bonjour を使用する］にチェックが付いているか。

Bonjour で印刷できない

大きなデータの印刷や大きな用紙に印刷していませんか？
Bonjour では、大きなデータや用紙を印刷するときに、Mac 側 HDD に多くの空き容量を必要とすることがあります。
EPSON TCP/IP 印刷は、Bonjour に比べて同等かあるいはより少ない HDD の空き容量で印刷が可能です（必要とする HDD の空き容量は、用紙サイズ、印刷データ、印刷設定などにより変動します）。
☞ 16 ページ「Mac OS X」

EpsonNet ソフトウェアのご案内

ここでは、本製品のソフトウェアディスクに収録の各ソフトウェアの詳細や、エプソンのネットワークソフトウェアを説明します。

EpsonNet ソフトウェアのインストールやダウンロードの方法は、以下のページを参照してください。

☞ 22 ページ「EpsonNet ソフトウェアを入手するには」

印刷用ソフトウェア

Windows でネットワーク印刷をするときに使用するソフトウェアです。OS 標準搭載の印刷方法以外で印刷するときに使用します。

●直接印刷ソフトウェア(EpsonNet Print)ソフトウェアディスク収録

- スプーラー画面にプリンターのステータスを表示できます。
- IPv4 アドレスを自動追従するため、ネットワークインターフェイスのアドレスが DHCP 機能によって自動的に割り当てられても、プリンターポートの設定変更が不要です。
- ルーターを越えた場所にあるプリンター（別セグメントのプリンター）を LPR プリンターとして使用できます。
- 印刷データの送信プロトコル（LPD/Epson 拡張 /RAW）を使い分けることで、印刷方法を３種類から選べます。
- IPv6 アドレスには対応していません。
- 詳細はソフトウェアディスクの［Manual］フォルダー内のマニュアルを参照してください。

設定ソフトウェア

本製品のネットワークインターフェイスの設定を、コンピューターから設定するときに使用するソフトウェアです。

●簡易ネットワーク設定ソフトウェア(EpsonNet Setup)ソフトウェアディスク収録

ウィザード形式で、簡単に IPv4 アドレスの設定ができるソフトウェアです。Windows 版と Mac OS 版があり、本製品のソフトウェアディスクから起動します。起動した画面の指示に従って設定を進めます。
Windows ではアドレス設定後にプリンタードライバーと EpsonNet Print をインストールして、直接印刷用のプリンターポートを自動作成します。
Mac OS ではアドレスの設定のみします。
それ以外の項目（IPv6、DNS サーバーの登録、SNMP など）の設定は、EpsonNet Config で設定してください。
詳細はプリンターのマニュアルを参照してください。

●ネットワーク設定ソフトウェア(EpsonNet Config(Windows)/(Mac OS)版)ソフトウェアディスク収録

ネットワークインターフェイスの各種アドレスやプロトコル（TCP/IP、SNMP）などが設定できるソフトウェアです。
詳細はソフトウェアのマニュアルを参照してください。

●ネットワーク設定ソフトウェア(EpsonNet Config(Web)版、Remote Manager)

ネットワークインターフェイスに内蔵されているソフトウェアです。
ネットワーク上のコンピューターで、Web ブラウザーなどから起動します。ネットワークインターフェイス設定（TCP/IP など）とプリンター設定（消耗品の確認や各種の確認・設定など）ができます。
EpsonNet Config（Web）や Remote Manager は、ネットワークインターフェイスおよびコンピューターに IP アドレスが設定されていないと使えません。初めて設定するときは EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）をお使いください。

☞ 22 ページ「EpsonNet Config（Web）、Remote Manager の使い方」

管理ソフトウェア

弊社では、オフィスの中で効率的または効果的にエプソン製プリンターを使用いただくための、ネットワーク管理ソフトウェアを提供しています。印刷だけでなく、トータルなプリンター管理を含めて提案していますので、ぜひ活用ください。
各ソフトウェアの入手方法は、以下を参照してください。
☞ 22 ページ「EpsonNet ソフトウェアを入手するには」

●プリンタードライバー導入支援ソフトウェア(EpsonNet SetupManager)

ネットワークプリンターのドライバーインストールからプリンターポートの設定までを、自動的に実行するインストールパッケージを作成できるソフトウェアです。

対応機種はエプソンのホームページ<http://www.epson.jp/products/offirio/sw/printing/index.htm>を参照してください。

管理者はグループごと、部署ごとに使用するプリンタードライバーのパッケージを一括して作成でき、作成したインストールパッケージをクライアント側のコンピューターで実行するだけでクライアントの印刷環境が作成されます。そのため、管理者がしているプリンタードライバー配布やインストール作業を大幅に軽減します。またプリンタードライバーだけでなく、EPSON ステータスモニタまたは EPSON プリンタウィンドウ !3 なども同時にパッケージ化できます。

EpsonNet ソフトウェアを入手するには

入手するには、直接エプソンのホームページにアクセスしてダウンロードしてください。

アドレス：http://www.epson.jp/

ソフトウェアと一緒に各ダウンロードサイトに掲載のマニュアルも入手してください。入手したマニュアルの内容を確認してから、各ソフトウェアを設定してください。

EpsonNet Config(Web)、Remote Manager の使い方

EpsonNet Config（Web）や Remote Manager は、Web ブラウザーからネットワークインターフェイスおよびプリンターを設定するソフトウェアです。また本製品の操作パネルで行う各種項目も、本ソフトウェア経由で設定できます。

動作環境

下表の Web ブラウザーが動作するコンピューターで使用できます。

EpsonNet Config(Web)

対応 Web ブラウザー	バージョン
Microsoft Internet Explorer	Ver 6 SP3 以降
Apple Safari	Ver 3 以降
Mozilla Firefox	Ver 3.6 以降

Remote Manager

対応 Web ブラウザー	バージョン
Windows Internet Explorer	Ver 7 以降
Apple Safari	Windows：Ver 3.0 以降 Mac OS：Ver 4.0.2 以降
Mozilla Firefox	Ver 11.0 以降

Web ブラウザーの設定に関する注意

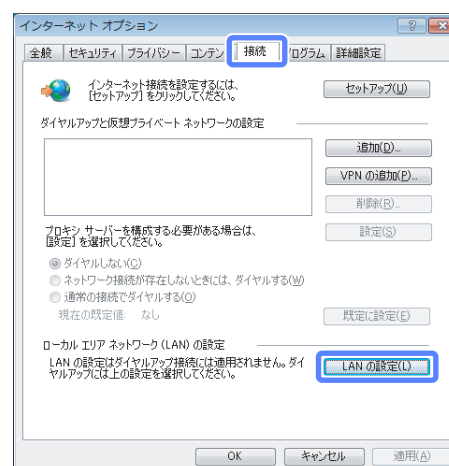
プロキシサーバーを使用する場合と使用しない場合で、Web ブラウザーの設定が異なります。

ここでは Windows 7 版の Windows Internet Explorer 8.0 を例に、プロキシサーバーを使用する場合と使用しない場合の設定を合わせて説明します。

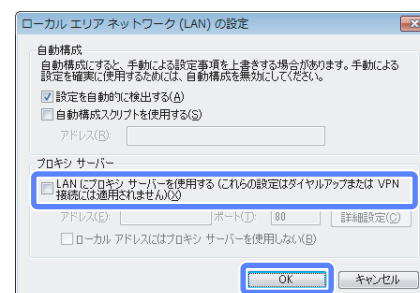
Web ブラウザーに Safari を使用してプロキシサーバーを利用するときは、以下を参照して［システム環境設定］－［ネットワーク］－［詳細］－［プロキシ］で設定をしてください。
プロキシサーバーを使用しないときは、設定不要です。
例：
ローカルアドレス 192.168.1.XXX、サブネットマスク 255.255.255.0 の場合：192.168.1.*
ローカルアドレス 192.168.XXX.XXX、サブネットマスク 255.255.0.0 の場合：192.168.*.*

1 **Windows Internet Explorer を起動します。**

2 **［ツール］－［インターネットオプション］をクリックします。**

3 **［接続］タブをクリックして、［LAN の設定］をクリックします。**

4 **プロキシサーバーを使う場合、使わない場合ごとに設定を確認します。**

プロキシサーバーを使用する：
［LAN にプロキシサーバーを使用する］にチェックを付ける

プロキシサーバーを使用しない：
［LANにプロキシサーバーを使用する］のチェックを外す

以上で終了です。

起動

EpsonNet Config(Web)やRemote Managerのインストールは不要です。ただし、以下の設定をしておいてください。

① 設定に使うコンピューターへの IP アドレス設定

② 設定に使うコンピューターへの Web ブラウザーのインストール

③ ネットワークインターフェイスへの IP アドレス設定

> **！重要** EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）と EpsonNet Config（Web）/Remote Manager から、同じネットワークインターフェイスに対して同時に設定しないでください。

> お使いの Web ブラウザーによっては、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いの Web ブラウザーおよび OS の説明書を参照してください。

Web ブラウザーから起動

Windows の場合は Web ブラウザーを起動しネットワークインターフェイスの IP アドレスをアドレスバーに入力して、［Enter］または［return］キーを押します。
このとき、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）を起動させないでください。

書式）　http:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス /　または
　　　　http:// ネットワークインターフェイスのホスト名 . ドメイン名 /

例：IPv4）http://192.168.100.201/

IPv6 のときは、ネットワークインターフェイスの IP アドレスを [] で囲みます。

例：IPv6 手動設定アドレス）　http://[2001：ｄｂ8：：1000：1]/

> - IP アドレスを自動取得にしているときは、IP アドレスが変わることがあります。以前に入力した IP アドレスやブックマークなどを利用して指定しても EpsonNet Config（Web）や Remote Manager が起動できないときは、操作パネルまたはネットワークステータスシートで本製品の IP アドレスを確認してください。
> - Windows Server 2008 の Windows Internet Explorer で本ソフトウェアを起動時に警告画面が表示されたときは、内容を確認して［追加］をクリックしてください。

Mac OS X で Safari から起動するときは、以下の手順で起動してください。

1. **メニューから［Safari］-［環境設定］を選択します。**

2. **［ブックマーク］ウィンドウで、以下の項目にチェックを付けます。**
   ブックマークバー：Bonjour を表示
   ブックマークメニュー：Bonjour を表示

3. **アドレスバー下のメニューに追加された［Bonjour］をクリックし、リストから本製品（Bonjour プリンター名）を選択します。**
   EpsonNet Config（Web）または Remote Manager が Safari 上に表示されます。表示されないときは、本製品の Bonjour 機能が有効になっているか確認してください。このとき、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）は起動しないでください。

EpsonNet Config(Windows)/(Mac OS)から起動

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）のリスト画面から、本製品を選択して［ブラウザーの起動］をクリックします。IPv6 では非対応です。

ネットワークマップから起動

Windows Vista/Windows 7では、OS に搭載されているネットワークマップから起動できます。

［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワークの状態とタスクの表示］－［フルマップの表示］の順にクリックして、表示された画面でプリンターをクリックします。

> **参考** 本製品の［ネットワーク設定］－［LLTD］を［Off］に変更したときは、ネットワークマップに表示されません。

付属のソフトウェア使用時のトラブル

EpsonNet Config、Remote Manager が起動または設定できない

ソフトウェアインストール後に、プロトコルやサービスを変更しましたか？

EpsonNet Config（Windows）のインストール後に、コンピューターでプロトコルやサービスの、追加または削除をすると、EpsonNet Config（Windows）が起動しなくなります。コンピューターのプロトコルやサービスを追加または削除したときは、EpsonNet Config（Windows）を削除後、再インストールしてください。

☞ 49 ページ「EpsonNet ソフトウェアの削除方法」

コンピューターにネットワーク設定をしていますか？

コンピューターにネットワーク設定をしていないと、「ネットワークがインストールされていないため、EpsonNet Config（Windows）を使用することはできません」というメッセージが表示されます。

このメッセージは、以下のようなときに表示されます。

- コンピューターに TCP/IP プロトコルが組み込まれていない
- コンピューターに TCP/IP プロトコルが組み込まれているが、IP アドレスが正しく設定されていない
- コンピューターにTCP/IPプロトコルが組み込まれており、各種アドレスを自動取得する設定になっているが、DHCP サーバーが応答していない

表示されたメッセージで［OK］をクリックすると EpsonNet Config（Windows）を起動できますが、TCP/IP の設定はできません。お使いのコンピューターのネットワーク設定をしてください。

本製品に IPv4 アドレスを設定していますか？

EpsonNet Config（Web）や Remote Manager を起動するには、先に EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）、または本製品の操作パネルで IP アドレスを設定してください。現在の設定は、ネットワークステータスシートの［IP Address］欄で確認できます。

☞ プリンターのマニュアル

SSL/TLS 通信設定の暗号強度を［High］に設定していませんか（インクジェットプリンター非対応）？

暗号強度を［High］に設定すると、256 ビットをサポートしているブラウザーでないと EpsonNet Config（Web）を起動できません。ブラウザーの暗号強度の対応ビットをご確認ください。Microsoft Internet Explorer 6 では、［ヘルプ］－［バージョン情報］で確認できます。

EpsonNet Config（Web）に SSL 通信（https）で接続した際「有効期限が切れている」と表示されませんか（インクジェットプリンター非対応）？

証明書の有効期限が切れている際は、証明書を取得し直してください。証明書の有効期限内に表示されるときは、本製品の時計機能の時刻が正しく設定されているか確認してください。

EpsonNet Config（Web）に SSL 通信（https）で接続した際「セキュリティ証明書の名前が一致しません ....」と表示されませんか（インクジェットプリンター非対応）？

自己署名証明書またはCSRを作成した際の［コモンネーム］で記述したアドレスとブラウザーに入力したアドレスが一致していません。

設定ソフトウェア起動時に製品名 /IP アドレスが表示されない

[Windowsセキュリティの重要な警告]画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、[ブロックする]、[キャンセル] や [遮断する] を選択しましたか？

[ブロックする]、[キャンセル] や [遮断する] を選択すると通信ができなくなるため、EpsonNet Setup（Windows）または EpsonNet Config（Windows）で製品名が表示されません。
通信を可能にするには、Windows ファイアウォールや市販のセキュリティーソフトで例外アプリケーションとして登録してください。

市販のセキュリティーソフトの中には、以下の作業をしても表示できないことがあります。そのときは、市販のセキュリティーソフトを一旦終了してから、本ソフトウェアを使用してみてください。

> **!重要**
> Windows ファイアウォールに例外登録すると、登録されたプログラムが使用するポートが外部からの通信を受け付けられるようになります。これは、ネットワーク経由の攻撃などセキュリティー上の危険性を高めたポートとなることを意味します。具体的なリスクとしては、コンピューターウィルスの侵入などが考えられます。Windows ファイアウォールの設定変更につきましては、このようなリスクなどもご確認の上、お客様の責任において実施していただきますようお願いいたします。
> 弊社は、この設定変更によって生じた損害および障害につきましては一切責任を負いません。

1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] を開きます。

2 [システムとセキュリティ] をクリックします。

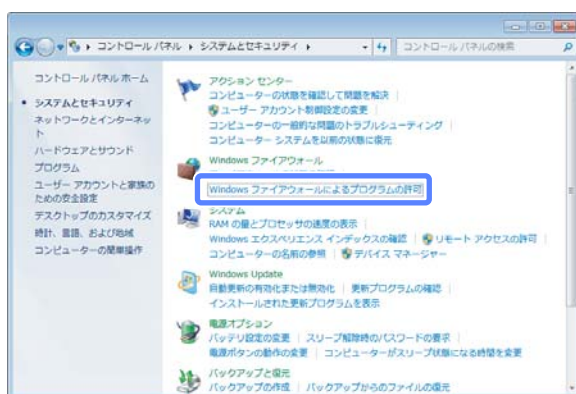
Windows Vista：
① [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリック
② [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されるので [続行] をクリック
③ 手順 4 に進む

Windows Server 2008：
手順 3 に進む

Windows XP/Windows Server 2003：
[セキュリティセンター] をクリック

3 [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。

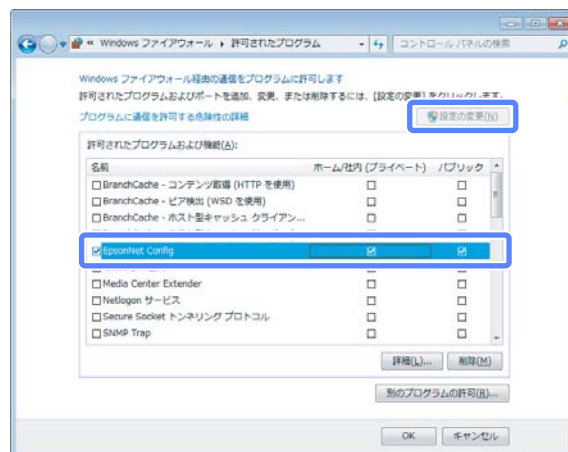
Windows Server 2008：
[Windows ファイアウォール] － [Windows ファイアウォールの有効化または無効化] をクリック

Windows Vista/Windows XP/
Windows Server 2003：
[Windows ファイアウォール] をクリックして、開いた画面で [例外] タブ－ [プログラムの追加] をクリック

4 **［設定の変更］をクリックして、［EpsonNet Config］の［ホーム / 社内（プライベート）］にチェックを付けます。**

EpsonNet Setup（Windows）のときは、本製品のソフトウェアディスク内の［ENEasyApp.exe］を選択してください。ソフトウェアディスクを参照するには、ディスク をコンピューターにセットして［別のプログラムの許可］ −［参照］をクリックしてください。

Windows 7 以外：

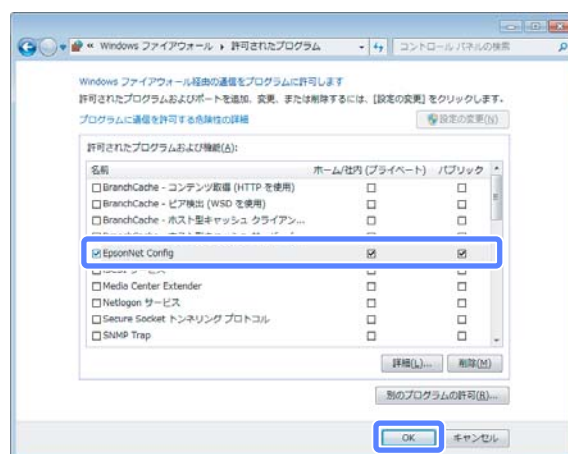
［EpsonNet Config］を選択して［OK］をクリック

EpsonNet Setup（Windows）のときは、本製品のソフトウェアディスク内の［ENEasyApp.exe］を選択。ソフトウェアディスクを参照するには、ディスクをコンピューターにセットして［参照］をクリック

5 **［EpsonNet Config］の［ホーム / 社内（プライベート）］、［パブリック］にチェックが付いていることを確認して［OK］をクリックします。**

EpsonNetSetup（Windows）のときは、［EpsonNet Setup］の［ホーム / 社内（プライベート）］、［パブリック］にチェックが付いていることを確認して［OK］をクリック

Windows 7 以外：

［EpsonNet Config］が［プログラムおよびサービス］（または［プログラムまたはポート］）に登録され、チェックが付いていることを確認して［OK］をクリック

EpsonNet Setup（Windows）のときは、［ENEasyApp.exe］が［プログラムおよびサービス］または［プログラムまたはポート］に登録され、チェックが付いていることを確認してから［OK］をクリック

以上で終了です。

通信エラーとする時間を変更してみてください。

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の［ツール］ −［オプション］ −［タイムアウト］で、通信エラーとする時間を大きい値に変更してみてください。ただし、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の動作が遅くなる（検索に時間がかかります）ため注意してください。

EpsonNet Print を使って印刷すると、ダイヤルアップ接続画面が表示される

インターネットへの接続設定がダイヤルアップ接続になっていませんか？

メッセージ画面でキャンセルを選択するとその後は正常に印刷されますが、Windows 起動後の最初の印刷時に、毎回メッセージが表示されます。

このメッセージが表示されないようにするには、LAN 接続でインターネットに接続するよう設定するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。

セキュリティー通信（IPSec/ アクセス制御）

本製品をネットワークに接続して使用する際に、外部からの不正アクセス、ユーザーのなりすまし、データの盗聴／改ざんなどの行為を防止できる機能です。

IPSec 通信／アクセス制御を設定することで、以下の機能が安全に使用できるようになります。

- ネットワーク経由の印刷
- ブラウザーによる製品の設定や管理

ただし、インクジェットプリンターや一部のページプリンターには対応していません。本製品が IPSec 通信／アクセス制御に対応しているかは、プリンターのマニュアルで確認してください。

プリンターのマニュアル

ここでは IPSec 通信／アクセス制御の設定例や、利用するための設定方法、トラブルシューティングなどを説明します。

概要と設定例

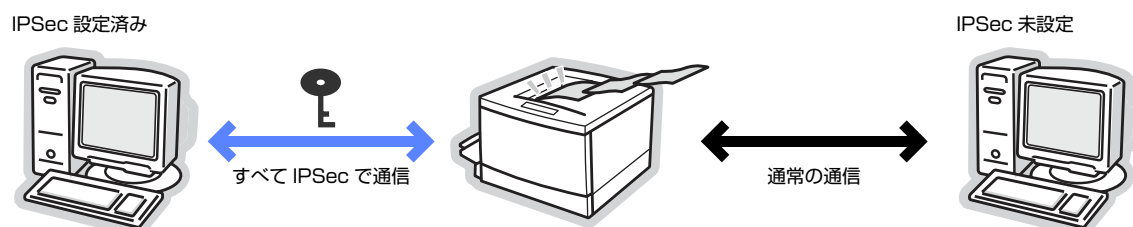
IPSec 通信とアクセス制御では、設定方法と制限できる通信方法が異なります。設定例を確認して目的に合った設定方法を選択してください。

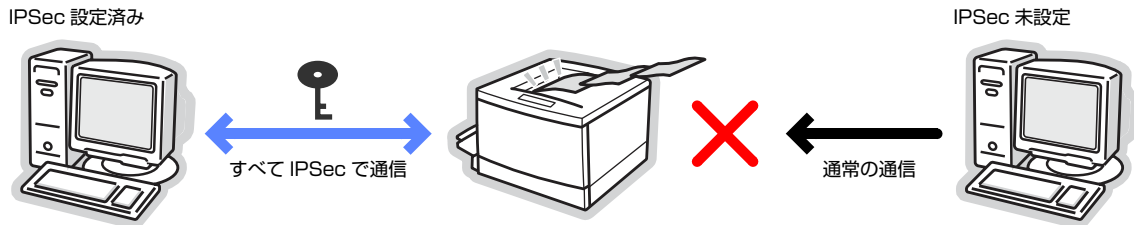
	IPSec 通信	アクセス制御
通信	保護された通信（暗号化）	保護されない通信
対象 OS	Windows Vista/Windows 7	本製品が対応しているすべての OS
設定方法	本製品とクライアントに設定が必要	本製品に設定が必要、クライアントは設定不要
設定例	例 1 ：IPSec 通信と通常の通信を受け付ける 例 2 ：IPSec 通信のみ受け付ける	例 3 ：印刷用の通信のみ受け付ける 例 4 ：特定の通信のみ受け付ける

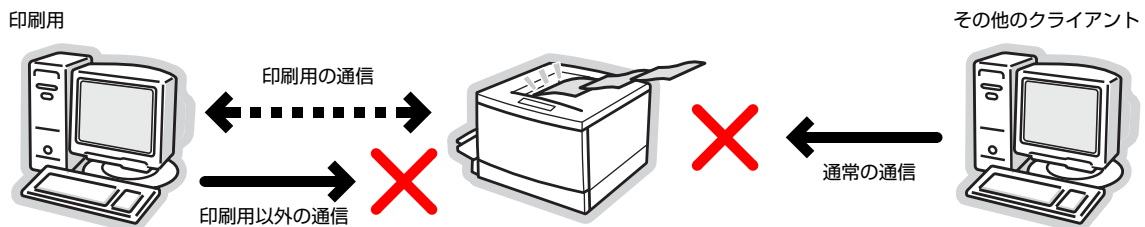
本製品のセキュリティーポリシーの概要

- 10 個まで設定できます。
- 複数設定時は設定画面上位（「ナンバー 01」）から確認して、適合したポリシーがあれば終了（通信に移行）します。
- 設定画面上位の項目から確認するため、限定的なポリシーはベースになるポリシーより上位に設定します。

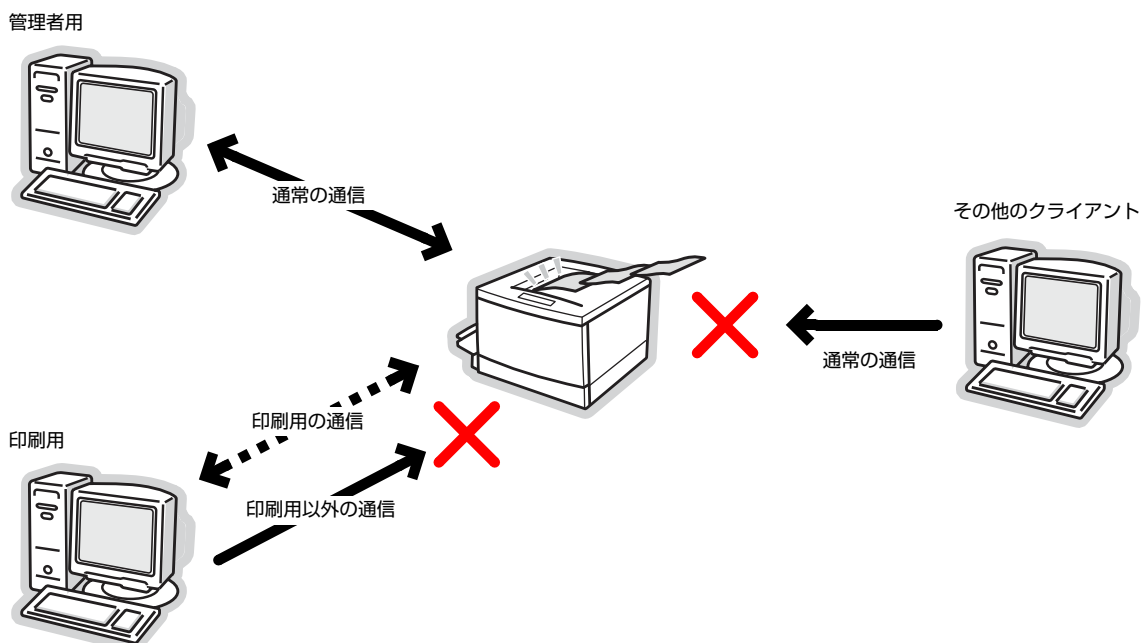
設定例 1

この設定にすると本製品はクライアントから IPSec で保護された通信と、通常の通信（IPSec で保護されていない）のどちらも受け付けます。

設定例 2

この設定にすると本製品はクライアントから IPSec で保護された通信のみ受け付けます。通常の通信（IPSec で保護されていない）は受け付けません。

設定例3

この設定にすると、本製品は特定のクライアントから印刷用の通信のみ受け付けます。それ以外のクライアントや製品を管理するための通信などは受け付けません。

設定例 4

この設定にすると、本製品は特定のクライアントから特定の通信のみを受け付けます。

例えば、管理者用クライアントはすべての通信（製品の管理や印刷など）が可能だが、印刷用のクライアントは印刷に関わる通信のみ可能で、製品管理の通信などはできないというようにクライアントごとにセキュリティーレベルを変更して利用できます。

セットアップの流れ

IPSec 通信の利用には、本製品とセキュリティー通信を利用するクライアントに、運用方法に合った設定が必要です。アクセス制御の利用には、本製品に運用方法に合った設定が必要です。

セットアップの流れは以下の通りです。

すでにセキュアなネットワーク環境を構築しているときは、別のネットワーク環境で本製品とコンピューターを接続してセットアップすることをお勧めします。運用中のセキュアなネットワーク環境に本製品を接続して設定するときは、送信の際に盗聴されるおそれがあります。別のネットワーク環境に接続して設定ができないときは下記「※設定時の通信を暗号化するには」の手順で設定してください。

ネットワークで接続

↓

EpsonNet Config（Web）の設定

☞22 ページ「EpsonNet　Config（Web）、Remote Manager の使い方」

運用方法ごとに必要な設定の詳細は以下をご覧ください。

☞31 ページ「本製品のセキュリティーポリシーの設定」

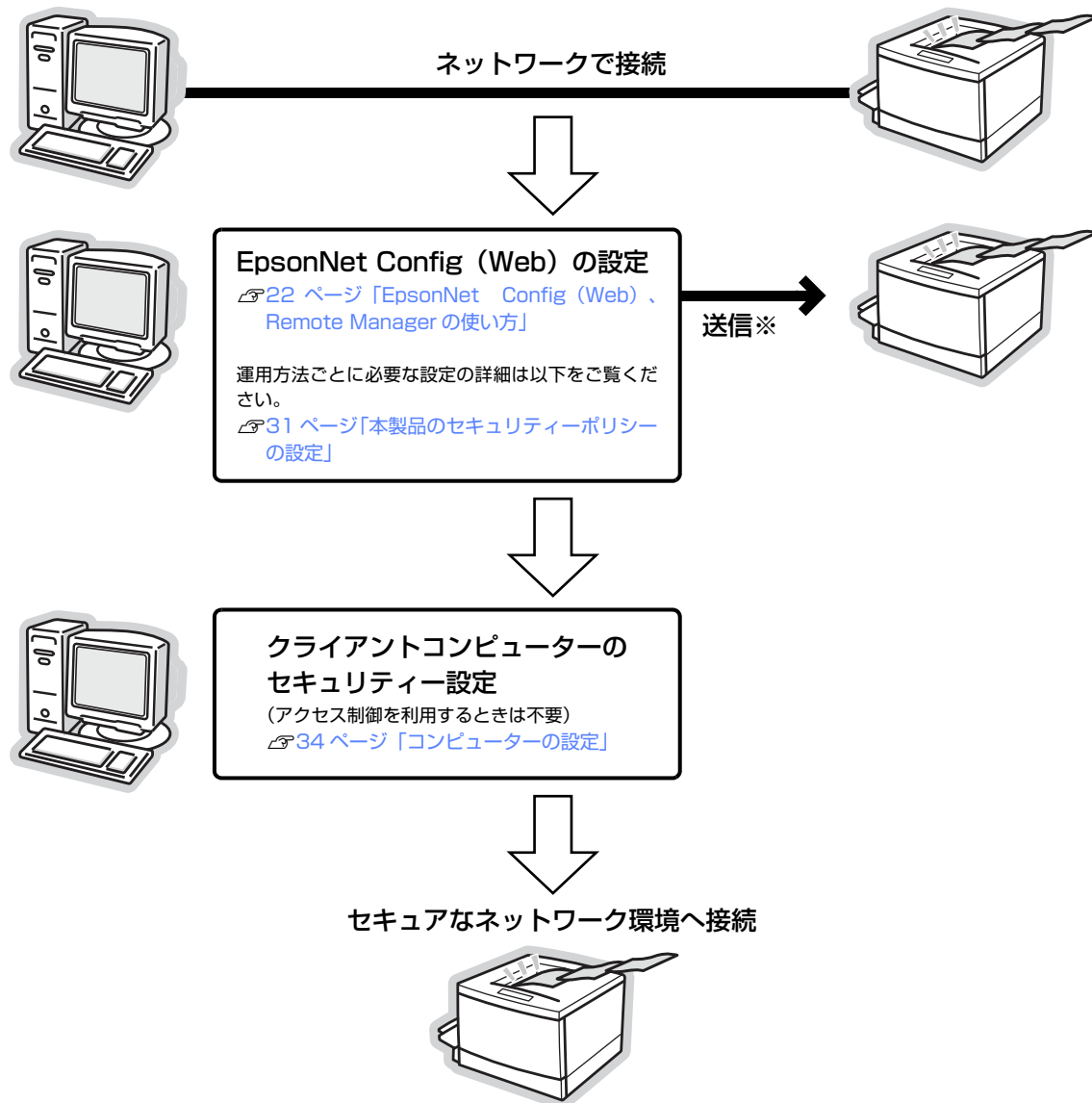
送信※

↓

クライアントコンピューターのセキュリティー設定

（アクセス制御を利用するときは不要）

☞34 ページ「コンピューターの設定」

↓

セキュアなネットワーク環境へ接続

※　設定時の通信を暗号化するには

運用中のセキュアなネットワーク環境に本製品を接続して設定するときは、送信の際に盗聴されるおそれがあります。別のネットワーク環境に接続して設定ができないときは以下の手順で設定してください。

以下の手順で設定すると暗号化した送信が可能です。

①本製品の操作パネルで［ネットワーク設定］－［IPSec］を［On］にして、事前共有キーを設定する

②本製品の設定をするコンピューターに IPSec の設定をする

☞ 34 ページ「コンピューターの設定」

③本製品と設定をするコンピューターをネットワークに接続する

本製品のセキュリティーポリシーの設定

コンピューターから本製品に搭載の EpsonNet Config（Web）を起動して、［設定］－［セキュリティー］－［IPSec ／アクセス制御］の各項目を、ご利用の運用方法に合ったセキュリティーポリシーに設定します。EpsonNet Config（Web）の起動方法は、以下をご覧ください。

☞ 22 ページ「EpsonNet Config（Web)、Remote Manager の使い方」

セキュリティー通信（IPSec/ アクセス制御）で本製品を使用するときは、本製品を固定の IP アドレスで使用することをお勧めします。IP アドレスが変更になると設定が無効になります。

設定例 1 の場合

EpsonNet Config（Web）で［設定］－［セキュリティー］－［IPSec ／アクセス制御］を以下の設定にしてください。

設定項目	設定値
IPSec/ アクセス制御を有効にする	有効
標準事前共有キー	半角英数 127 文字以内で設定

設定例 2 の場合

EpsonNet Config（Web）で［設定］－［セキュリティー］－［IPSec ／アクセス制御］を以下の設定にしてください。

設定項目	設定値
IPSec/ アクセス制御を有効にする	有効
標準パケット処理	必ず IPSec を使用
標準事前共有キー	半角英数 127 文字以内で設定

設定例 3 の場合

EpsonNet Config（Web）で［設定］－［セキュリティー］－［IPSec ／アクセス制御］でそれぞれのクライアントに合った設定をします。

その他のクライアントからの通信を遮断するための設定

EpsonNet Config（Web）で［設定］－［セキュリティー］－［IPSec ／アクセス制御］を以下の設定にしてください。

設定項目	設定値
IPSec/ アクセス制御を有効にする	有効
標準パケット処理	通信を遮断

印刷用の設定

［IPSec ／アクセス制御ポリシー設定］で個別に設定が必要です。［セキュリティーポリシーナンバー］は「ナンバー01」から優先的に適用されます。

以下は印刷プロトコルに RAW（Port9100）印刷を使用したときの例です。

設定項目	設定値
ポリシーの状態	有効
パケット処理	通常の通信
リモートアドレス（ホスト）*	印刷用クライアントの IP アドレスを設定 （プレフィックス長による範囲指定が可能） 例（IP v 4）：192.168.0.0/24
ローカルポート指定方法（プリンター）	サービス名指定
［適用対象］－［サービス名］	RAW 印刷

* 固定 IP アドレスで利用することをお勧めします。DHCP または自動取得（IPv6）のときに、リース切れや有効期限で通信できなくなることがあります。

［ローカルポート指定方法（プリンター）］で［ポート番号指定］を選択して、［ローカルポート］/［リモートポート］を指定したいときは、［上位プロトコル］で［TCP］または［UDP］を選択してください。

設定例 4 の場合

EpsonNet Config（Web）で［設定］－［セキュリティー］－［IPSec ／アクセス制御］でそれぞれのクライアントに合った設定をします。

その他のクライアントからの通信を遮断するための設定

EpsonNet Config（Web）で［設定］－［セキュリティー］－［IPSec ／アクセス制御］を以下の設定にしてください。

設定項目	設定値
標準パケット処理	通信を遮断

管理者用の設定

［IPSec ／アクセス制御ポリシー設定］で個別に設定が必要です。［セキュリティーポリシーナンバー］は「ナンバー01」から優先的に適用されます。

設定項目	設定値
ポリシーの状態	有効
パケット処理	通常の通信
リモートアドレス（ホスト）*	管理者用クライアントの IP アドレスを設定

* 固定 IP アドレスで利用することをお勧めします。DHCP または自動取得（IPv6）のときに、リース切れや有効期限で通信できなくなることがあります。

印刷用の設定

［IPSec ／アクセス制御ポリシー設定］に管理者用とは異なる設定が必要です。［セキュリティーポリシーナンバー］は「ナンバー 01」から優先的に適用されます。管理者用と併用するときは、印刷用を管理者用の後のナンバーで入力してください。

以下は印刷プロトコルに RAW（Port9100）印刷を使用したときの例です。

設定項目	設定値
ポリシーの状態	有効
パケット処理	通常の通信
リモートアドレス（ホスト）*	印刷用クライアントの IP アドレスを設定 （プレフィックス長による範囲指定が可能） 例（IPｖ4）：192.168.0.0/24
［適用対象］－［サービス名］	RAW 印刷

* 固定 IP アドレスで利用することをお勧めします。DHCP または自動取得（IPv6）のときに、リース切れや有効期限で通信できなくなることがあります。

［ローカルポート指定方法（プリンター）］で［ポート番号指定］を選択して、［ローカルポート］/［リモートポート］を指定したいときは、［上位プロトコル］で［TCP］または［UDP］を選択してください。

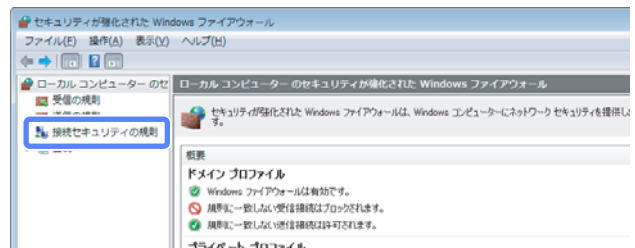
コンピューターの設定

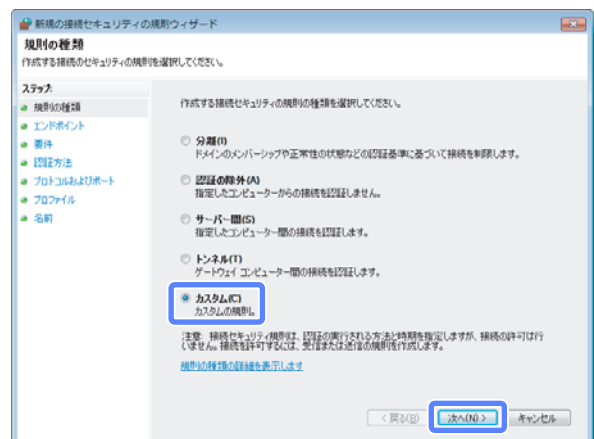
IPSec 通信をするクライアントにセキュリティー設定が必要です。ここではその手順を説明します。

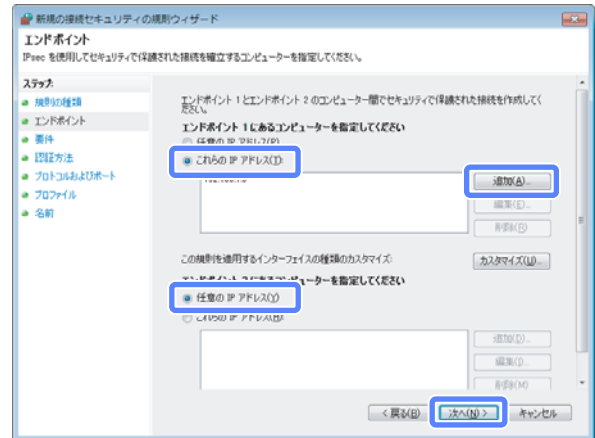
1 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［システムとセキュリティ］－［管理ツール］の順にクリックします。

Windows Vista：
［スタート］－［コントロールパネル］－［システムとメンテナンス］－［管理ツール］の順にクリック

2 ［セキュリティが強化された Windows ファイアウォール］をダブルクリックします。

3 ［接続セキュリティの規則］をクリックします。

4 ［新しい規則...］をクリックします。

5 ［カスタム］を選択して［次へ］をクリックします。

6 **各エンドポイントに本製品とクライアントの IP アドレスを設定します。**

本製品（プリンター）：［これらの IP アドレス］を選択し、［追加］で本製品の IP アドレスを指定して［OK］をクリック
クライアント：［任意の IP アドレス］を選択

7 **［受信接続と送信接続の認証を要求する］を選択して［次へ］をクリックします。**

8 **［詳細設定］を選択して［カスタマイズ］をクリックします。**

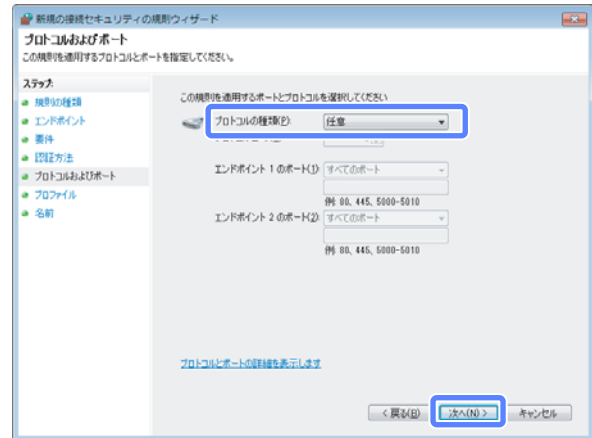
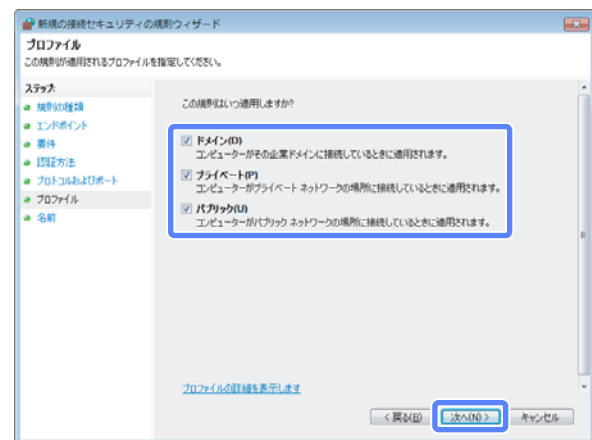
9 **［1 番目の認証］の［追加］をクリックして開いた画面で、本製品に設定した事前共有キーを登録します。**

EpsonNet Config（Web）の［IPSec ／アクセス制御基本設定］－［標準事前共有キー］に設定したキーを登録します。

10 **［1 番目の認証方法］に登録した情報が表示されたことを確認して［OK］をクリックします。**

11 **［認証方法］画面に戻ったら［次へ］をクリックします。**

12 ［プロトコルの種類］が［任意］になっていることを確認して［次へ］をクリックします。

Windows Vista：
手順 13 に進む

13 適用範囲を選択して［次へ］をクリックします。

14 ［名前］を入力して［完了］をクリックします。

以上で終了です。

設定や使用時のトラブル

事前共有キーを忘れてしまった

EpsonNet Config（Web）で確認するか、キーを設定し直します

EpsonNet Config（Web）の［設定］－［セキュリティー］－［IPSec ／アクセス制御］の［標準事前共有キー］または［事前共有キー］で設定した内容を確認できます。本製品にパスワードを設定していたときは、パスワードの入力が必要になります。

本製品のパスワードを忘れたときは、エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。

☞『操作ガイド』－「お問い合わせ先」

IPSec 通信ができない

コンピューターの設定で本製品がサポートしていない整合性アルゴリズム、暗号化アルゴリズム、キー互換アルゴリズムを指定していませんか？

本製品がサポートするセキュリティーメソッドは以下です。

セキュリティーメソッド	項目
整合性アルゴリズム	SHA-1 MD5
暗号化アルゴリズム	3DES DES
キー交換アルゴリズム	Diffie-Hellman　Group1 Diffie-Hellman　Group2 Diffie-Hellman　Group14

コンピューターの［カスタム　セキュリティ　メソッドの設定］で、上記の組み合わせ以外は設定しないでください。
通常はコンピューターの［IPSec の設定］を既定から変更する必要はありません。

突然通信ができなくなった

本製品の IP アドレスが変更または使用不可になっていませんか？

EpsonNet Config（Web）の［設定］－［セキュリティー］－［IPSec ／アクセス制御］の［ローカルアドレス（プリンター）］に設定した IP アドレスが、DHCP のリース切れや再起動、IPv6 アドレスの有効期限切れや再取得失敗により、見つからない可能性があります。

固定の IP アドレスを使用してください。

コンピューターの IP アドレスが変更または使用不可になっていませんか？

EpsonNet Config（Web）の［設定］－［セキュリティー］－［IPSec ／アクセス制御］の［リモートアドレス（ホスト）］に設定した IP アドレスが、DHCP のリース切れや再起動、IPv6 アドレスの有効期限切れや再取得失敗により、見つからない可能性があります。

固定の IP アドレスを使用してください。

本製品の設定に失敗していませんか？

本製品の設定に間違いがある可能性があります。購入時の設定に戻してから再度設定してください。購入時への戻し方は EpsonNet Config で［工場出荷時設定］または［リセット］を実行してください。パスワードを忘れてしまったときはインフォメーションセンターにご相談ください。

セキュリティー通信(SSL)

本製品をネットワークに接続して使用する際に、外部からの不正アクセスや、データが読み取られたりするなどの行為を防止できる機能です。

SSL 通信を設定することで、以下の機能が安全に使用できるようになります。

- ブラウザーによる製品の設定や管理
- インターネット印刷プロトコル（IPP）

ただし、インクジェットプリンターや一部のページプリンターには対応していません。本製品が SSL 通信に対応しているかは、プリンターのマニュアルで確認してください。

☞ プリンターのマニュアル

ここでは SSL 通信の設定方法や、利用方法、トラブルシューティングなどを説明します。

必要な設定

SSL 通信を利用するには、本製品に電子証明書と秘密鍵のインポートが必要です。電子証明書のインポートは本製品に搭載の EpsonNet Config（Web）で設定します。本製品には購入時から電子証明書（自己署名証明書）をインポートしているため、設定のために接続するときも SSL 通信（https でのアクセス）が可能です。

ブラウザーによる本製品の設定や管理

本製品の設定や管理を安全に利用するには、EpsonNet Config（Web）で以下の設定が必要です。

- サーバー証明書のインポート
- 利用するサーバー証明書の選択 （自己署名証明書 または CA 署名証明書）
- 暗号強度の設定 （High/Medium/Low の選択）
- SSL リダイレクト機能の設定

！重要

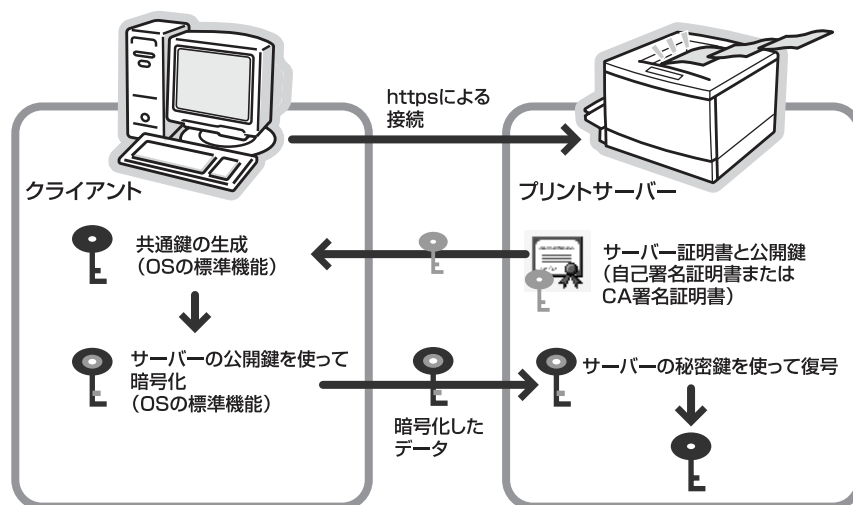
SSL 通信に関する設定を保護するために、ネットワークインターフェイスにパスワードを設定してください。ネットワークインターフェイスにパスワードを設定しないと、外部から不正にアクセスされたり、SSL 通信に関する設定を改ざんされたりするなどの危険性があります。
設定方法は、以下を参照してください。
☞ 22 ページ「EpsonNet Config（Web）、Remote Manager の使い方」

インターネット印刷プロトコル(IPP)

インターネット印刷プロトコル（IPP）を SSL 通信でセキュアにした IPPS プロトコルにすることで、印刷データを暗号化して読み取られることを防止します。インターネット印刷プロトコル（IPP）を SSL 通信で利用するには、EpsonNet Config（Web）で以下の設定が必要です。

- サーバー証明書のインポート
- 利用するサーバー証明書の選択（自己署名証明書 または CA 署名証明書）
- 暗号強度の設定 （High/Medium/Low の選択）
- ポートコントロール機能の設定

電子証明書の概要

SSL 通信をするためには、電子証明書が必要です。

サーバー証明書

SSL 通信をするために、以下のいずれかのサーバー証明書が必要です。

自己署名証明書

本製品が自ら発行した証明書です。認証機関（CA 局）が発行していないため信頼性はありません。

本製品は、購入時から自己署名証明書を本体に内蔵しています。

- 新規に電子証明書を取得することなく、SSL 通信によるデータの暗号化ができます。
- EpsonNet Config（Web）を使用して、証明書の作成 / 更新ができます。
- CA 局が発行した信頼された証明書ではないため、次の制約があります。
  * 「なりすまし」は防げません。
  * セキュリティーの警告画面が表示されることがあります。
  * インターネット上では使用しないでください。

CA 署名証明書

認証機関（CA 局）が発行した証明書です。CA 局で審査を受け有料で発行してもらうことができます。

本製品で CSR（証明書発行要求）を作成して、その CSR を CA 局に送付して CA 署名証明書を入手します。

- 取得した証明書を本製品にインストールして使用できます。
- セキュリティーの警告画面が表示されません。
- インターネット上で使用しても安全が確保されます。
- 以下の CA 局の証明書が使用できます。
  * 日本ベリサイン
  * グローバルサイン
  * セコムトラストシステムズ
  * Microsoft 証明書サービス（Windows Server 2003 に付属のツール）
  * Active Directory 証明書サービス（Windows Server 2008）

！重要 CA 署名証明書の再発行をしない CA 局があります。CA 署名証明書をインストールした後は、証明書と秘密鍵をペアで必ずバックアップしておいてください。

設定方法

各使用方法に必要な設定をします。

設定に必要な EpsonNet Config（Web）へのアクセス方法は以下の通りです。

書式）　https:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス /　または
　　　　https:// ネットワークインターフェイスのホスト名 . ドメイン名 /

例：IPv4）https://192.168.100.201/

例：IPv6 手動設定アドレス）　https://[2001：ｄｂ8：：1000：1]/

サーバー証明書のインポート

サーバー証明書には、自己署名証明書と CA 署名証明書があります。「必要な設定」と「電子証明書の概要」を確認して、使用する方法に必要な証明書をインポートします。

☞ 39 ページ「必要な設定」
☞ 40 ページ「電子証明書の概要」

サーバー証明書のインポートには本製品の時計機能を利用するため、サーバー証明書のインポート操作前に本製品の日時を正しく設定してください。

自己署名証明書を使用

1 **EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティー］－［サーバー証明書］から［自己署名証明書］－［更新 / 作成］をクリックします。**

2 **［コモンネーム］を入力します（必須）。**

本製品にアクセスする際に用いる IP アドレス、FQDN 名などの識別子を入力します。

参考
［コモンネーム］の入力は、カンマ文字で、以下のようにディスティングイッシュネーム（CN）を複数に分割できます。
例）　コモンネームの入力：192.168.192.1,SBC01.epson.net
　　　作成されるコモンネーム情報：CN=192.168.192.1, CN=SBC01.epson.net

3 **証明書の有効期間を選択します。**

4 **［作成］をクリックして、［今すぐリセット］をクリックします。**

以上で終了です。

CA 署名証明書を使用(入手)

CA 署名証明書入手に必要な CSR（証明書発行要求）の作成方法を説明します。

> **重要** CSR は作成するごとにペアとなる秘密鍵情報が生成されます。本製品は、生成した CSR と秘密鍵情報を 1 組のみ保存します。新たに CSR の作成操作をすると、前回作成した CSR と秘密鍵を破棄して上書き保存します。

1 **EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティー］－［サーバー証明書］から［CA 署名証明書］－［発行要求（CSR）作成］をクリックします。**

2 **「コモンネーム」を入力します（必須）。**

必要に応じて、「組織名」、「部署名」、「都道府県名」、「市区町村名」、「国別記号」を入力します。

- 国別記号は、ISO3166 で規定される 2 文字の国コードを使用してください。
- ［コモンネーム］、［組織名］、［部署名］、［都道府県名］、［市区町村名］の入力は、カンマ文字でそれぞれのディスティングイッシュネームを複数に分割できます。
- CSR 作成において利用可能文字や文字数制限などの入力規約については、CA 局の方針に従ってください。

3 **［作成］をクリックして CSR を作成します。**

作成した CSR は、［名前を付けて保存］をクリックすると DER（バイナリー）フォーマットで保存されます。

Bae64 形式で保存するときは、「-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----」から「-----END CERTIFICATE REQUEST-----」までをコピー & ペーストしてテキストエディターなどを使用して保存してください。

4 **CSR を CA 局に送付して、CA 署名証明書を入手します。**

送付方法や送付形態は、CA 局の方針に従ってください。

入手した CA 署名証明書は、EpsonNet Config（Web）にアクセスするコンピューターに保存してください。

> **重要** CA 局より CA 署名証明書が交付されるまでは、CSR を作成しないでください。交付された CA 署名証明書がインポートできなくなります。

CA 署名証明書を使用(インポート)

本製品に CA 署名証明書をインポートする前に、利用するすべてのコンピューターに CA 局が発行する CA（ルート / 中間）証明書をインストールしておくことをお勧めします。

交付された CA 署名証明書を本製品にインポートします。

1 **EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティー］－［サーバー証明書］から［CA 署名証明書］－［インポート］をクリックし、開いた画面で CA 署名証明書をインポートします。**

コンピューターに保存した証明書ファイルを選択して、［インポート］をクリックします。

> **重要** 本製品の日時が正しく設定されていないと、CA 署名証明書のインポートに失敗することがあります。

2 **インポートした CA 署名証明書と秘密鍵のバックアップ保存をします。**

> **重要** 本製品の故障や誤操作による電子証明書の喪失に備えて、CA 署名証明書をインストールした後は、証明書と秘密鍵をペアで必ずバックアップしておいてください。
> ☞ 44 ページ「秘密鍵付き証明書（PKCS#12）の保存と復元」

3 **本製品を再起動します。**

以上で終了です。

利用するサーバー証明書の選択

1 EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティー］－［サーバー証明書］画面を開きます。

2 リストから［自己署名証明書］か［CA 署名証明書］のいずれかを選択します。

> 参考　CA 署名証明書が未導入の状態だと、リストに［CA 署名証明書］は表示されません。

3 ［更新］をクリックします。

以上で終了です。

暗号強度を設定

この設定は省略可能です。

1 EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティー］－［SSL/TLS 通信設定］画面を開きます。

2 暗号強度の設定値を選択します。
暗号強度の購入時の設定は［Medium］です。

3 本製品を再起動します。

> !重要　暗号強度を［High］に設定すると、OS やブラウザーの種類やバージョン、サービスパックなどにより、EpsonNet Config（Web）が開けなかったり、IPPS 印刷ができなかったりすることがあります。
> OS やブラウザーはできるだけ最新のバージョン、サービスパックを導入することをお勧めします。
> OS やブラウザーのバージョンアップが不可能なときは、暗号強度を［Medium］もしくは［Low］に設定すると解決することがあります。

以上で終了です。

SSL リダイレクト機能の設定

この設定は省略可能です。

SSL リダイレクト機能を ON にすると、ユーザーが EpsonNet Config（Web）を利用する時に、アクセス方法を意識することなく常に SSL 通信でアクセスします。

OFF にすると、ユーザーがブラウザーの URL アドレスに入力したアクセス方法で EpsonNet Config（Web）にアクセスします。

SSL リダイレクト設定	http：// ****** と入力した場合	https：// ****** と入力した場合
ON（チェックを付ける）	自動的に https アクセスに変更	https でアクセス
OFF（チェックを外す）	http でアクセス	

1 EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティー］－［SSL/TLS 通信設定］画面を開きます。

2 ［WEB アクセス］の［自動的に HTTPS 接続にリダイレクトする］にチェックを付けます。

3 ［送信］をクリックして、［今すぐリセット］をクリックします。

> 参考　この機能は EpsonNet Config（Web）のアクセス方法にのみ適用され、IPPS の印刷には適用されません。

以上で終了です。

ポートコントロールの設定

IPP 暗号（Port443）を有効にします。

この設定は IPPS 印刷にのみ有効で、EpsonNet Config（Web）の SSL 通信には影響しません。
IPPS 印刷を使用するときは、不要な印刷ポートを無効にすることをお勧めします。

1 EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティー］－［ポートコントロール］画面を開きます。

2 IPP 暗号（Port443）を［有効］に設定します。

3 ［送信］をクリックして、［今すぐリセット］をクリックします。

以上で終了です。

秘密鍵付き証明書（PKCS#12）の保存と復元

本製品の故障や誤操作などによる電子証明書の喪失に備えて、CA 署名証明書と秘密鍵をペアで保存（エクスポート）、保存した CA 署名証明書と秘密鍵を製品に復元（インポート）できます。なお自己署名証明書は保存（エクスポート）できません。

保存（エクスポート）

1 EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティー］－［サーバー証明書］－［秘密鍵付き証明書（PKCS#12）］をクリックします。

2 ファイルを暗号化するために［秘密鍵のパスワード］を入力します。

重要 入力した［秘密鍵のパスワード］のパスワードを忘れると、インポートできなくなります。［秘密鍵のパスワード］の管理は、気を付けてください。

参考 ［秘密鍵のパスワード］の入力は省略できますが、ファイルが暗号化されず危険にさらされるため［秘密鍵のパスワード］を設定してエクスポートすることを推奨します。

3 ファイルを保存する場所とファイル名を指定します。

参考 エクスポート時のファイル名の初期値は「cert_******.p12」です。****** は、本製品の MAC アドレス下 6 桁です。必要に応じてファイル名は変更してください。

以上で終了です。

復元（インポート）

1 EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティー］－［サーバー証明書］－［秘密鍵付き証明書（PKCS#12）］をクリックします。

2 インポートしたいファイルを指定します。

3 エクスポート時に指定した［秘密鍵のパスワード］を入力します。

参考 すでに有効期限が満了した証明書は本製品にインポートできません。証明書のインポートに失敗したときは、本製品の日時が正しく設定されているか確認してください。

4 ［インポート］をクリックします。

以上で終了です。

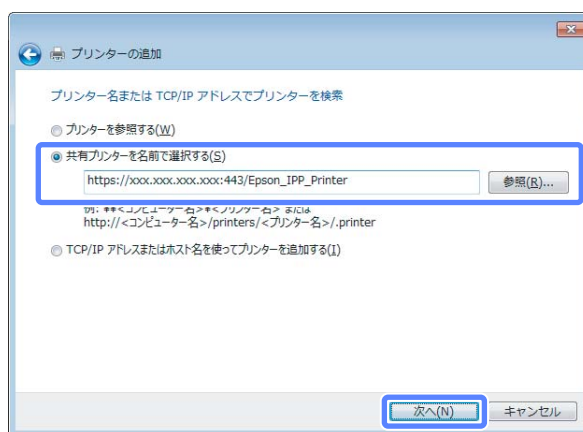
印刷データの暗号化（セキュア IPP 印刷）

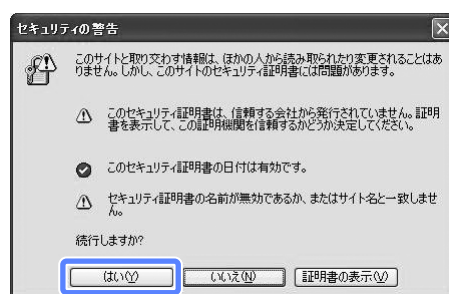
印刷データを暗号化して印刷する方法は、インターネット印刷（IPP）を利用して実現できます。手順は基本的に IPP 印刷と同じです。

印刷前の準備

インターネット印刷（IPP）のウィザード画面で URL の書式を以下のように記述します。
書式） https:// ［コモンネーム］:443/Epson_IPP_Printer

［コモンネーム］はサーバー証明書のインポートで指定した情報を入力してください。
☞ 41 ページ「サーバー証明書のインポート」

以下のページの手順に従って、印刷するプリンタードライバーのポートをインターネット印刷（IPP）に変更してください。
☞ 14 ページ「インターネット（IPP）で印刷する」

印刷時

印刷先のポートを https の IPP ポートに変更するだけで、通常の印刷が暗号化されます。
印刷を実行すると以下の画面が表示されます（Windows Vista/Windows 7以外）。［はい］をクリックして印刷を続行します。

以上で終了です。

設定や使用時のトラブル

証明書がインストール / インポートできない

入手した CA 署名証明書と作成した CSR の情報が一致していますか？

CA 署名証明書を入手するために作成した CSR は、同一の情報を有していないとインストールできません。以下の点を確認してください。

- 複数の製品で CSR を同時に作成した際に、一致しない機器にインストールしようとしていませんか？
  情報を確認して一致する機器にインストールしてください。
- 認証局に CSR を送付した後、再度 CSR 作成を実行した。
  CA 署名証明書を再取得してください。

入手した CA 署名証明書のファイル容量が５ KB 以上ありませんか？

５ KB を超える CA 署名証明書は、インストールできません。

エクスポートした証明書をインストールする際のパスワードは正しいですか？

パスワードを忘れた場合、エクスポートした証明書をインストールできません。

EpsonNet Config(Web)にアクセスできない

EpsonNet Config（Web）で［セキュリティー］ー［SSL/TLS 通信設定］の設定を［High（3DES-168,AES-256)］に設定しませんでしたか？

使用しているブラウザーが SSL 256 ビットに対応していない古いバージョンだとアクセスできません。

- SSL 256 ビット対応のブラウザーをご利用ください。
- 暗号強度を［Medium］や［Low］に変更してご利用ください。

EpsonNet Config(Web)にアクセスすると警告が表示される

エラーメッセージ	原因	対処
この証明書は、信頼する会社から発行されていません。・・・・(以下省略)	自己署名証明書を使用しています。	そのままでも問題ありませんが、警告表示を消すためには、認証局から証明書を取得してください。
	使用する CA 署名証明書を検証する CA 証明書がコンピューターにインストールされていません。	使用する CA 署名証明書を検証する CA 証明書をコンピューターにインストールしてください。
	使用する CA 証明書が中間 CA であり、ルート CA までのチェインをたどることができません。	ルート認証局の CA 証明書をコンピューターにインストールしてください。
有効期限が切れている	本製品もしくはお使いのコンピューターの日付、時刻、時差の設定が正しくありません。	本製品およびお使いのコンピューターの「日付時刻設定」を正しく設定してください。
	有効期限が切れています。	証明書を取得し直してください。
セキュリティ証明書の名前が一致しません・・・(以下省略)	自己署名証明書もしくは CSR 作成時に入力した［コモンネーム］情報とブラウザーに入力した URL が一致しません。	証明書の「コモンネーム」情報と同一内容をブラウザーの URL に入力してください。

証明書を操作すると警告が表示される

エラーメッセージ	原因	対処
CA 証明書のインポートに失敗しました	最大インポート可能数（6 通）を超えて CA 証明書をインポートしようとしました。	不要な CA 証明書を削除してください。
	インポートしようとしたファイルが X509 形式の証明書ファイルと異なります。	X509 形式の証明書ファイルであるか確認してください。
	インポートしようとした証明書ファイルが 5KB を超えています。	インポート可能な証明書ファイルサイズは、5 KB までです。
	インポートしようとした証明書の有効期限がすでに過ぎています。	有効期限内の証明書ファイルを入手してインポートするか、本製品の日時、時差が正しく設定されているか確認してください。
	ファイル未選択のままで［インポート］ボタンをクリックしました。	ファイルを選択してから［インポート］ボタンをクリックしてください。
CA 証明書の削除に失敗しました	インポートされていない証明書の［削除］ボタンをクリックしました。	インポート済みの項目の［削除］ボタンをクリックしてください。
自己署名証明書の作成に失敗しました	コモンネームを未入力状態で自己署名証明書を作成しました。	コモンネームは、必ず入力してください。
	コモンネームの入力に入力可能文字以外（例．日本語）を入力しました。	入力可能な文字は半角英数 64 文字以内です。
	、（カンマ）を使用しています。	カンマと空白の使用には、注意が必要です。詳しくは、EpsonNet Config のヘルプを参照してください。
	空白を使用しています。	
証明書発行要求（CSR）の作成に失敗しました	コモンネームを未入力状態で CSR の作成しました。	コモンネームは、必ず入力してください。
	コモンネーム、組織名、部署名、市町村名、都道府県名いずれかの入力に入力可能文字以外（例. 日本語）を入力しました。	入力可能な文字は半角英数 64 文字以内です。
	、（カンマ）を使用しています。	カンマと空白の使用には、注意が必要です。詳しくは、EpsonNet Config のヘルプを参照してください。
	空白を使用しています。	
CA 署名証明書のインポートに失敗しました	インポートしようとしたファイルが X509 形式の証明書ファイルと異なります。	X509 形式の証明書ファイルであるか確認してください。
	インポートしようとした証明書ファイルが 5KB を超えています。	インポート可能な証明書ファイルサイズは、5 KB までです。
	インポートしようとした証明書の有効期限がすでに過ぎています。	有効期限内の証明書ファイルを入手してインポートするか、本製品の日時、時差が正しく設定されているか確認してください。
	インポートする CA 署名証明書が生成した秘密鍵と不整合です。	本製品から作成した CSR による CA 署名証明書か確認してインポートしてください。 一旦 CSR を作成したら、CA 局から送付される証明書をインポートするまで、CSR の作成操作をしないでください。CA 局から入手した証明書がインポートできなくなります。

エラーメッセージ	原因	対処
秘密鍵付き証明書（PKCS#12 形式）のインポートに失敗しました	• インポートしようとしたファイルが X509 形式の証明書ファイルと異なります。 • インポートをしようとしたファイルが PKCS#12 形式と異なります。	各証明書ファイルの形式を確認してください。
	インポートしようとした証明書ファイルが 10KB を超えています。	インポート可能な証明書ファイルサイズは、10KB までです。
	インポートしようとした証明書の有効期限がすでに経過しています。	有効期限内の証明書ファイルを入手してインポートするか、本製品の日時、時差が正しく設定されているか確認してください。
	入力した秘密鍵パスワードが正しくありません。	正しいパスワードを入力してください。

証明書を削除してしまった

CA 署名証明書を削除した場合、バックアップファイルがありますか？

CA 署名証明書はエクスポートできます。バックアップファイルとしてエクスポートした CA 署名証明書をインポートしてください。

バックアップファイルがないときは、証明書を取得した認証局にお問い合わせください。

CA 証明書を削除した場合、証明書を入手した認証局にお問い合わせください。

CA 証明書はエクスポートできません。証明書を取得した認証局にお問い合わせください。

付録

EpsonNet ソフトウェアの削除方法

各 OS ごとの削除方法を説明します。

☞ 49 ページ「Windows 用ソフトウェアを削除する」
☞ 50 ページ「Mac OS X 用ソフトウェアを削除する」

Windows 用ソフトウェアを削除する

削除するには、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

1 **［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プログラムのアンインストール］を開きます。**

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プログラムの追加と削除］の順にクリック

2 **削除するソフトウェアを選択して、［アンインストール］（または［削除］、［変更と削除］）をクリックします。**

Windows Vista：
［アンインストール］（または［アンインストールと変更］）をクリックして、［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリック

3 **この後は、画面の指示に従ってください。**

以上で終了です。

Mac OS X 用ソフトウェアを削除する

削除するには管理者権限を持つユーザーでログオンしてください。
ソフトウェアの削除は「Uninstaller」を使います。
再インストールやバージョンアップをするときは、対象のソフトウェアを削除してから行います。

1 **ソフトウェアディスクをコンピューターにセットします。**

2 **表示されたフォルダーの画面を下にスクロールして、[Uninstaller] をダブルクリックします。**

インストールされているエプソン製のソフトウェアが表示されます。

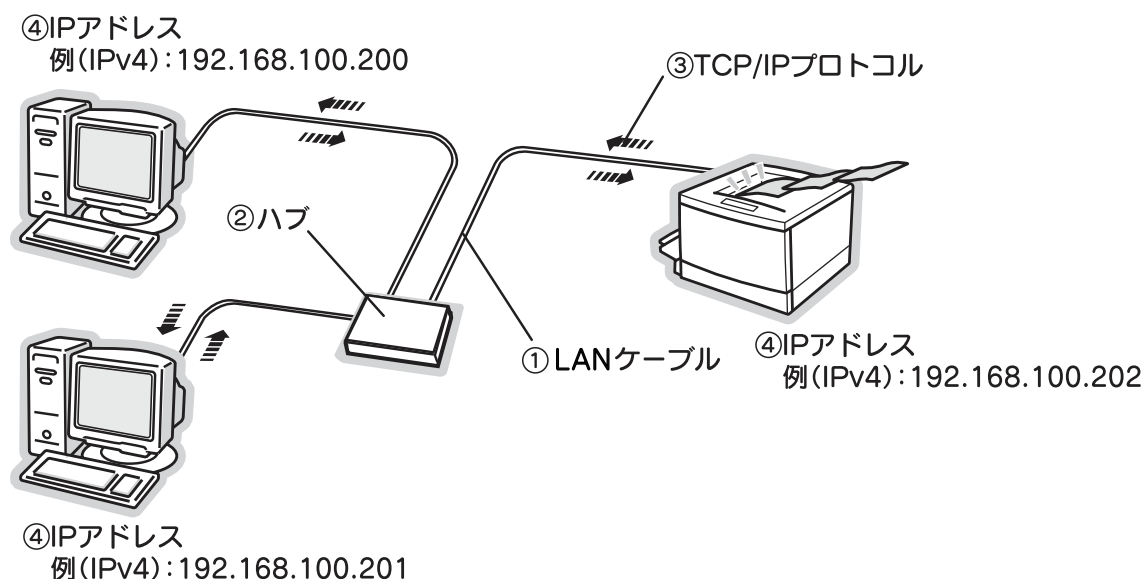
Uninstaller はエプソンのホームページからダウンロードすることもできます。
アドレス　http://www.epson.jp/

3 **削除するソフトウェアにチェックを付けて、[アンインストール] をクリックします。**

- Uninstaller は、ご使用のコンピューターにインストールされているエプソン製プリンタードライバーをすべて削除します。複数のエプソン製プリンターをご使用の場合は、削除した後に、ご使用のプリンタードライバーを再インストールしてください。
- ソフトウェア一覧に表示されないソフトウェアは、Uninstaller では削除できません。[アプリケーション] - [Epson Software] フォルダーから、ソフトウェアのアイコンを [ゴミ箱] フォルダーにドラッグ & ドロップして削除してください。

以上で終了です。

ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識

プリンターのネットワーク共有に必要なネットワーク環境を IPv4 アドレスで説明します。

①LAN(ラン)ケーブル

市販のLANケーブル(ストレートケーブル)を使用してください。ケーブルの接続の規格は伝送速度によって異なります。本製品のネットワークインターフェイスには、シールドツイストペアケーブル(カテゴリー5 以上)を使用してください。

②ハブ(HUB)

LAN ケーブルを接続するための集線装置です。ネットワーク上のコンピューターやプリンターはハブを介して接続します。

③TCP/IP(ティーシーピーアイピー)

ネットワークの通信にはさまざまな規約があり(これをプロトコルといいます)、TCP/IP はその中の 1 つです。インターネット上の通信で使用される、世界的な標準プロトコルです。ネットワーク上のすべてのコンピューターに組み込む必要があります。

④IP アドレス(アイピーアドレス)

電話機 1 台につき 1 つの電話番号が必要であるように、コンピューターをネットワーク上で使用するには、コンピューター 1 台につき 1 つの識別子(アドレス)が必要です。この識別子のことを IP アドレスといい、電話番号と同様に数字の羅列(例(IPv4):192.168.192.168)で表されます。ネットワーク上のすべてのコンピューターやプリンターに IP アドレスを割り振る必要があります。

☞ 52 ページ「IP アドレス(IPv4 アドレス)は何番に設定する?」

IP アドレス(IPv4 アドレス)は何番に設定する？

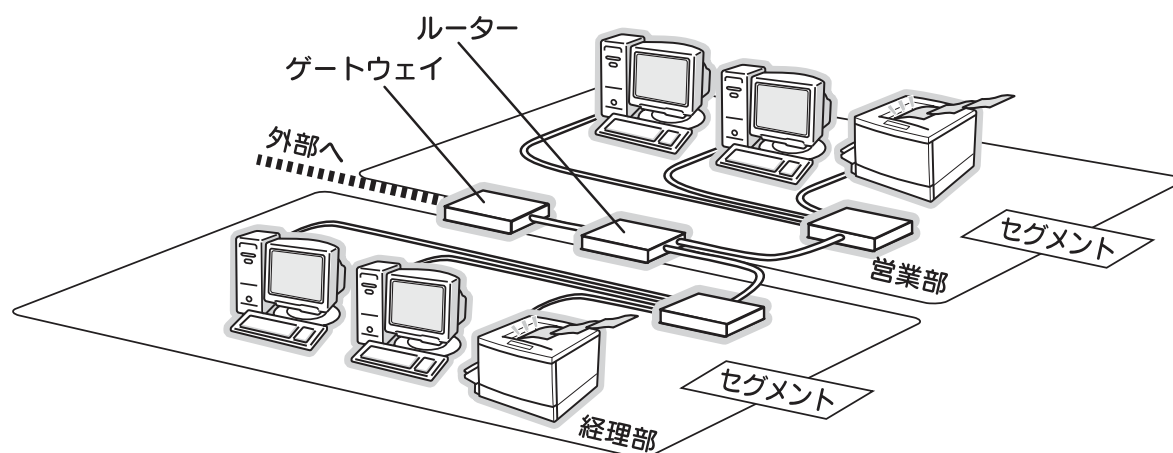
複数のコンピューターで IP アドレスが重複すると、正常に通信できません。そのため、IP アドレスは世界的な機関で集中管理されています。外部接続（インターネットへの接続、電子メールの送受信など）をするときには、日本ネットワークインフォメーションセンター：JPNIC（http://www.nic.ad.jp/）に申請して、正式に IP アドレスを取得する必要があります（通常はインターネットサービスプロバイダー（通称 ISP）が代行します）。
ただし、外部のネットワークに接続しない閉じた環境では、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもとに、以下の範囲のプライベートアドレスが使用できます。

プライベートアドレス	10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
	172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
	192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

IP アドレスの割り振り方

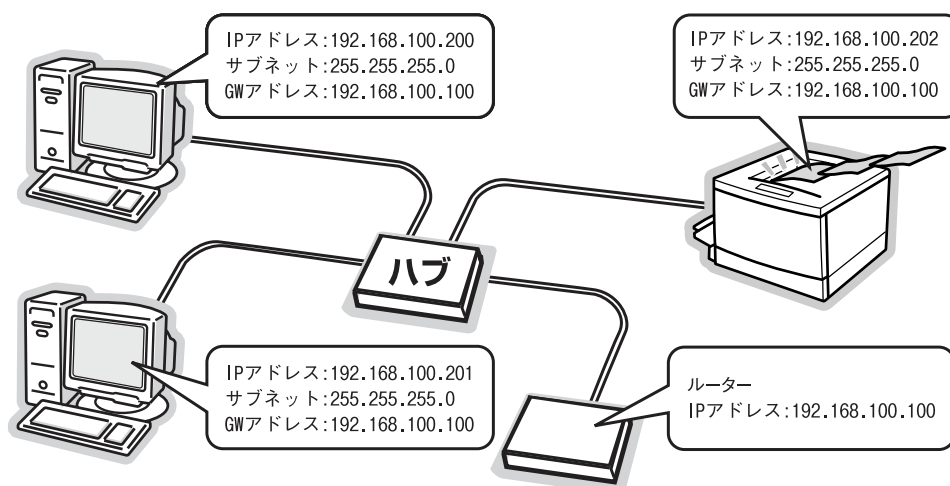
IP アドレスをネットワーク上のコンピューターに割り振る前に、「サブネットマスク」というものを理解しなければなりません。

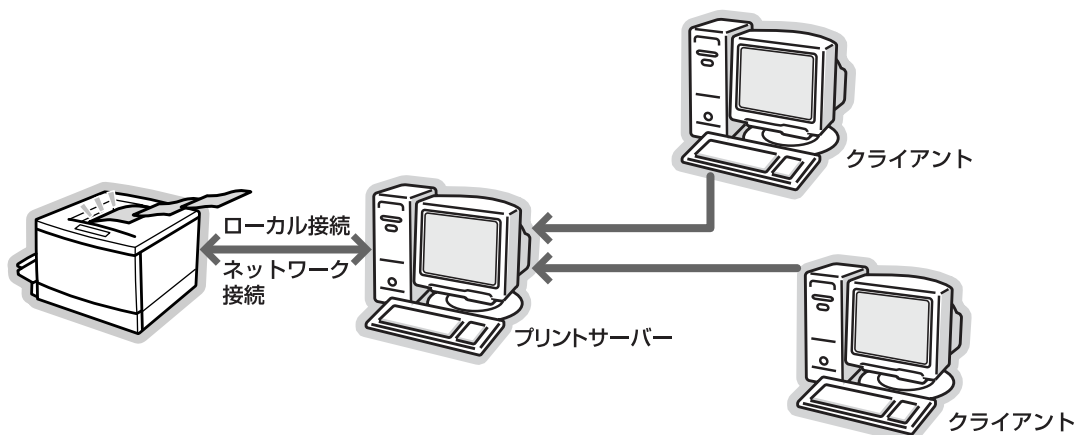
電話番号に市外局番があるように、IP アドレスにもエリアを示す仕組みがあります。このエリアは、概念的には会社や部門などで分け、物理的にはゲートウェイまたはルーター * といわれる中継器で分けます。

* ゲートウェイ・ルーターとは
同一プロトコルを使用した社内ネットワークで、部門間に設置する中継器をルーター、社内ネットワークと外部（インターネット）との間に設置する中継器をゲートウェイと考えてください。なお、ルーターによって分けられるエリアをセグメントといいます。

エリアを示す仕組みに利用されるのが、サブネットマスクです。サブネットマスクは、IP アドレスと同様、数字の羅列（例（IPv4)：255.255.255.0）で表されます。
サブネットマスクは、IP アドレスに被せるマスクと考えてください。下表の例では、サブネットマスクの「255」にかかる部分がエリアのアドレス（これをネットワークアドレスといいます）、「0」にかかる部分がエリア内の各機器のアドレスになります。サブネットマスクの詳細な説明は、インターネットなどを参照してください。
<例> IP アドレス（IPv4）が「192.168.100.200」の場合

プリンターを利用するコンピューターは、IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイアドレスなどを設定する必要があります。下表を参考に設定してください。

IP アドレス（IPv4）	あるコンピューターは 192.168.100.200、他のコンピューターには 192.168.100.201、本製品のネットワークインターフェイスには 192.168.100.202 のように、サブネットマスクの「0」にかかる部分の数値を 1 ～ 254 の間で設定してください。
サブネットマスク	通常は、255.255.255.0 であれば、問題ありません。プリンターを利用するすべてのコンピューターで同じ値にしてください。
ゲートウェイ（GW）	ゲートウェイになるサーバーやルーターのアドレスを設定します。ゲートウェイがない場合は、設定の必要はありません。

＜例：IPv4 の場合＞

プリンターを共有するには

コンピューターにネットワークまたはローカルで直接接続したプリンターを、他のコンピューターから共有して使用する手順を説明します。
プリンターをネットワークまたはローカルで直接接続したコンピューターをプリントサーバーといい、プリントサーバーに印刷許可を受けるコンピューターをクライアントといいます。

共有設定を始める前に、プリントサーバーからネットワークまたはローカルで直接接続したプリンターへ、印刷ができることを確認してください。

プリンターをネットワークで直接接続する場合

☞ 5 ページ「印刷環境の確認」

プリンターをローカルで直接接続する場合

☞ プリンターのマニュアル

各 OS の設定方法を確認して、プリントサーバーおよびクライアントを設定してください。

Windows の場合

☞ 55 ページ「プリントサーバーの設定（Windows）」
☞ 59 ページ「クライアントの設定（Windows）」

Windows XP Service Pack 2 以降をインストールしている環境において、本製品を Windows の共有プリンター接続で使用するときは、EPSON ステータスモニタまたは EPSON プリンタウィンドウ !3 から利用できる機能に制限が発生することがあります。制限事項と回避方法の詳細に関しては、エプソンのホームページを参照してください。
＜ http://www.epson.jp ＞

Mac OS の場合

☞ 62 ページ「プリントサーバーの設定（Mac OS X）」
☞ 63 ページ「クライアントの設定（Mac OS X）」

Windows 環境の追加ドライバー機能

追加ドライバー機能とは、プリントサーバーに各 OS のプリンタードライバーをインストールしておけば、クライアントは本製品のソフトウェアディスクを使用せずに、プリントサーバーから自動コピーでプリンタードライバーをインストールできるため、インストール手順を簡略化できます。

手順の詳細は、以下を参照してください。

☞ 55 ページ「プリントサーバーの設定（Windows）」

追加ドライバーを削除するには、以下を参照してください。

☞ 57 ページ「追加ドライバーを削除するには」

プリントサーバーの設定（Windows）

プリントサーバーとして設定する手順と追加ドライバーをプリントサーバーにインストールする手順を併せて説明します。
追加ドライバーの詳細は以下を参照してください。
☞ 54 ページ「Windows 環境の追加ドライバー機能」

設定を始める前に、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

1 ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を開きます。

Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック

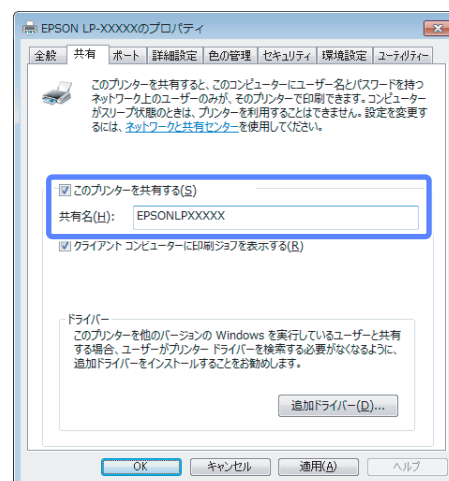
Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリック

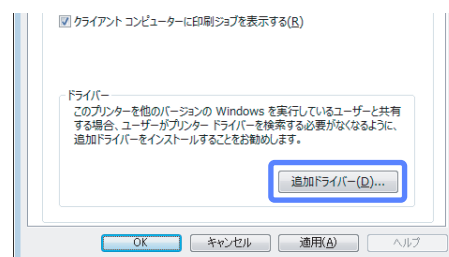
2 本製品のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックして［共有］タブをクリックします。

Windows 7 以外：
本製品のアイコンを右クリックして、［共有］をクリック

3 ［このプリンターを共有する］を選択して、［共有名］を入力します。

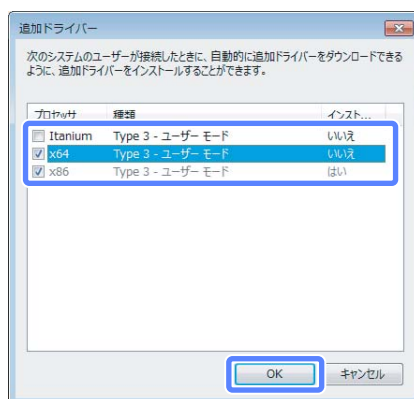
選択できないときは［共有オプションの変更］をクリックすると、選択できるようになります。

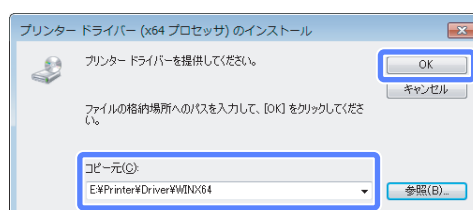
！重要
エラーの原因になるため共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

4 ［追加ドライバー］をクリックします。

追加ドライバーをインストールしない場合は［OK］をクリックして、プリントサーバーの設定を終了してください。

続いてクライアントを設定します。
☞ 59 ページ「クライアントの設定（Windows）」

- ［セキュリティ］タブが表示されているときは、設定した共有プリンターに対して使用するユーザーのアクセス権（印刷許可）を設定しないと、印刷できないことがあります。詳細は、Windows のヘルプを参照してください。
- クライアントから共有プリンターの状態を確認させるには、［OK］をクリックした後に EPSON ステータスモニタの［通知設定］画面で、［共有プリンターを監視させる］にチェックを付けてください。詳しくはプリンターのマニュアルを参照してください。

5 下表を参照して、クライアントの Windows バージョンにチェックを付け（または選択して）、[OK] をクリックします。

プリントサーバー OS	クライアント OS	選択項目
Windows XP	64bit OS	x64 Windows XP
Windows Server 2003	64bit OS	Itanium Windows XP および Windows Server 2003
Windows Vista/ Windows Server 2008/ Windows 7	64bit OS	x64 Type 3

6 クライアント用のプリンタードライバーが収録されているドライブ名とフォルダー名を選択または半角文字で入力して、[OK] をクリックします。

入力例）
E:¥Printer¥Driver¥WINX64
（E ドライブにセットしたとき）

※ クライアントOSは環境によって
メッセージが多少異なります。

参考

- [デジタル署名が見つかりませんでした] といったメッセージの画面が表示されることがあります。[はい] または [続行] をクリックして、そのままインストールを進めてください。付属のプリンタードライバーであれば問題なくお使いいただけます。
- 本製品のソフトウェアディスクによっては、各製品のフォルダー名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェアディスクのフォルダーを確認して入力してください。

7 [閉じる] をクリックしてプロパティーを閉じます。

クライアントから共有プリンターの状態を確認させるには、[OK] をクリックした後に EPSON ステータスモニタの [通知設定] 画面で、[共有プリンターを監視させる] にチェックを付けてください。
詳しくはプリンターのマニュアルを参照してください。

これでプリンターを共有させるためのプリントサーバーの設定は終了です。続いて各クライアントを設定します。

59 ページ「クライアントの設定（Windows）」

追加ドライバーを削除するには、以下を参照してください。

57 ページ「追加ドライバーを削除するには」

追加ドライバーを削除するには

プリントサーバーにクライアント用の追加ドライバーをインストールしたときは、以下の手順で追加ドライバーを削除（アンインストール）できます。

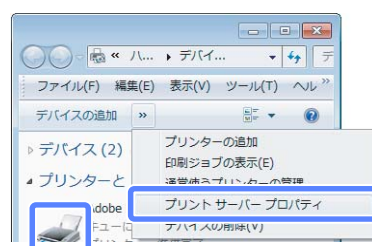
1 **起動中のアプリケーションソフトをすべて終了します。**

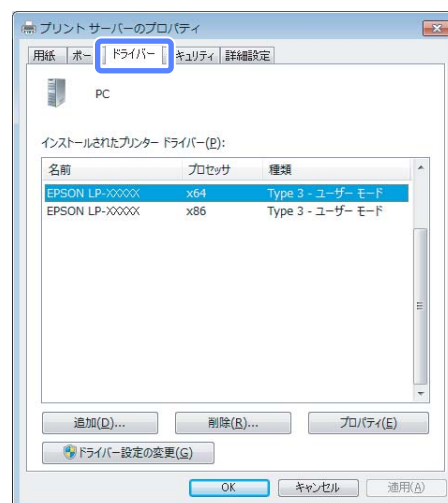
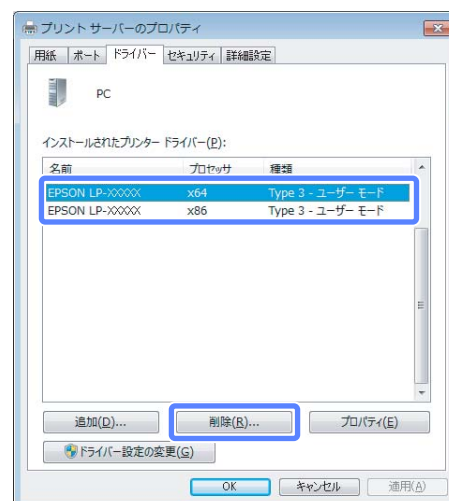
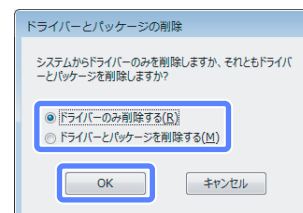
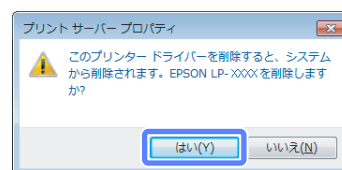
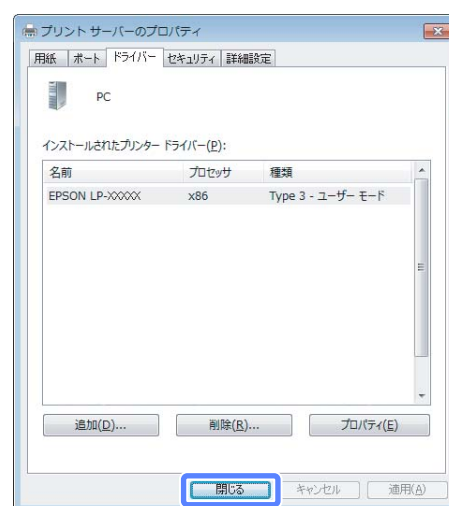
2 **［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を開きます。**

Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリック

3 **プリンターを選択して画面上部に表示される［プリントサーバープロパティ］をクリックします。**

Windows Vista:
プリンターを何も選択しないでウィンドウ内で右クリック－［管理者として実行］－［サーバーのプロパティ］をクリック

Windows 7/Windows Vista 以外：
［ファイル］－［サーバーのプロパティ］をクリック

4 **［ドライバー］タブをクリックします。**

5　削除する追加ドライバーを選択して、［削除］をクリックします。

6　［ドライバーとパッケージの削除］画面が表示されたら、どちらかを選択して［OK］をクリックします。

7　削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

8　［閉じる］をクリックしてプロパティーを閉じます。

以上で終了です。

クライアントの設定(Windows)

ここでは、[プリンタ] / [プリンタと FAX] / [デバイスとプリンター] フォルダーから、プリントサーバーの共有プリンターに接続してプリンタードライバーをインストール(コピー)する手順を説明します。
Windows デスクトップ上の [ネットワークコンピュータ] や [マイネットワーク] から、共有プリンターへ接続してプリンタードライバーをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。

> **!重要** Windows Server 2003、Windows Server 2008 はサーバー OS のため、クライアントとしての設定はしないでください。

プリントサーバーの設定が終了している場合は、以下の各クライアント OS の設定に進みます。
☞ 60 ページ「Windows XP/Windows Vista/Windows 7」

プリントサーバーの設定が終了していない場合は、プリントサーバーを設定してください。
☞ 55 ページ「プリントサーバーの設定 (Windows)」

プリントサーバーに追加ドライバー機能でプリンタードライバーをインストールしたときは、クライアント設定時に本製品のソフトウェアディスクを使用せずに設定できます。
☞ 54 ページ「Windows 環境の追加ドライバー機能」

EPSON ステータスモニタまたは EPSON プリンタウィンドウ !3

- 追加ドライバー機能を利用してプリンタードライバーをクライアントにインストールしたときは、EPSON ステータスモニタまたは EPSON プリンタウィンドウ !3 はインストールされません。印刷に問題はありませんので、そのままお使いいただけます。
- 共有したプリンターの状況をクライアントから確認するには、ソフトウェアディスクから EPSON ステータスモニタまたは EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしてください。またプリントサーバーの共有プリンター側で、共有プリンターを監視できるように設定してください。詳細はプリンターのマニュアルを参照してください。

Windows XP/Windows Vista/Windows 7

Windows が稼働するコンピューターをクライアントとして設定する手順を説明します。
設定を始める前に、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

1 **［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を開きます。**

Windows Vista：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック

Windows XP：
［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリック

2 **［プリンターの追加］をクリックします。**

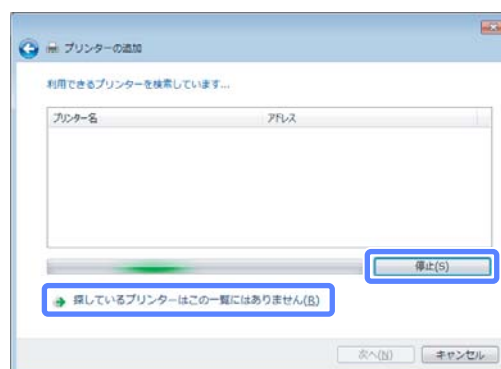
Windows Vista：
［プリンタのインストール］をクリック

Windows XP：
［プリンタのインストール］－［次へ］の順にクリック

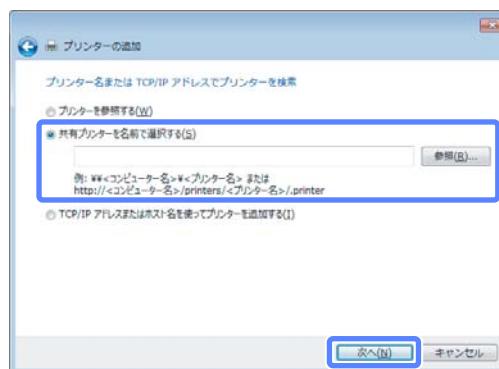
3 **［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します］をクリックします。**

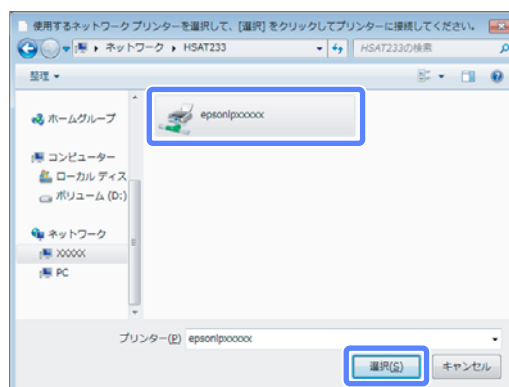
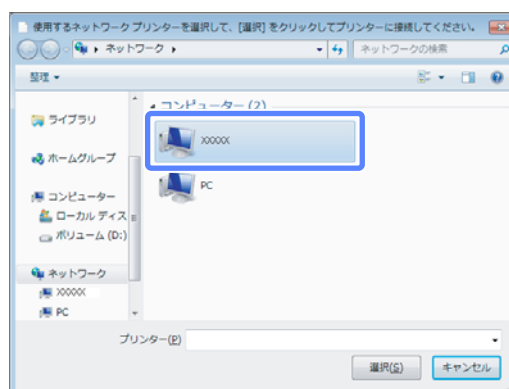
Windows XP：
［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択して［次へ］をクリック

4 **［停止］－［探しているプリンターはこの一覧にはありません］をクリックします。**

Windows XP：
手順 5 に進む

5 **［共有プリンターを名前で選択する］を選択して［次へ］をクリックします。**

ネットワーク上のプリンター接続先がわかっているときは、入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）できます。
書式） ¥¥プリントサーバー名¥共有プリンター名

Windows XP：
［指定したプリンタに接続する］を選択して［次へ］をクリック。
ネットワーク上のプリンター接続先がわかっているときは、入力欄に上記書式で直接入力（半角文字）。

6 **共有プリンターを設定したプリントサーバーをダブルクリックまたはクリックし、共有プリンターの名前をクリックして［選択］（または［次へ］）をクリックします。**

> **参考**
> - プリントサーバーで共有プリンターを設定したときに、プリンターの名称を変更していることがあります。ご利用のネットワークの管理者に確認してください。
> - すでに該当製品のプリンタードライバーがインストールされているときは、既存のプリンタードライバーを使用するか、新しいプリンタードライバーを使用するか選択してください。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。
> - Windows Vista/Windows 7 の標準ユーザーで設定していたときは、［ユーザーアカウント制御］画面が表示されます。管理者アカウントのパスワードを入力してください。

7 **画面の指示に従って設定を終了します。**

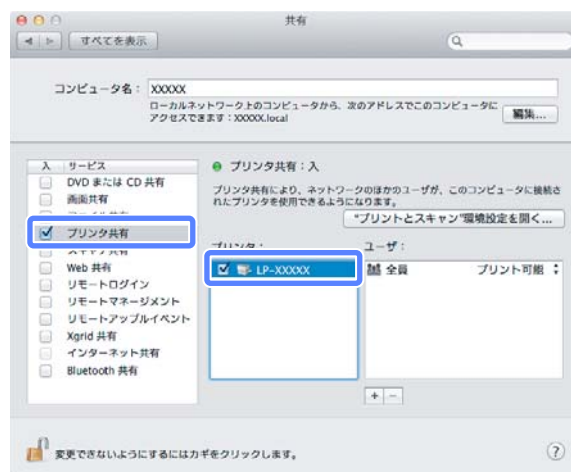
以上で終了です。

プリントサーバーの設定（Mac OS X）

Mac OS X が稼働するコンピューターをプリントサーバーとして設定する手順を説明します。

1 プリンターの電源を入れます。

2 アップルメニュー－［システム環境設定］を開き［共有］をクリックします。

3 ［プリンタ共有］にチェックを付けて、［プリンタ］で共有するプリンターにチェックを付けます。

4 ［システム環境設定］－［システム環境設定を終了］をクリックします。

以上で終了です。

クライアントの設定（Mac OS X）

ネットワーク上の共有プリンターは、各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）に自動的に追加されます。通常の方法でアプリケーションソフトの［ページ設定］画面や［プリント］画面を設定して印刷してください。

- 共有プリンターの電源が切れていても、各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）に共有プリンターが表示されたままになることがあります。
- 共有プリンターを直接接続しているコンピューターがシステム終了すると、共有プリンターは各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）から自動的に消えます。
- 各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントとファクス］（または［プリントとスキャン］）に複数のプリンターが追加されているときは、共有プリンターをデフォルトプリンターとして選択するか、印刷のたびに共有プリンターを選択してください。

PING コマンドによる通信確認方法

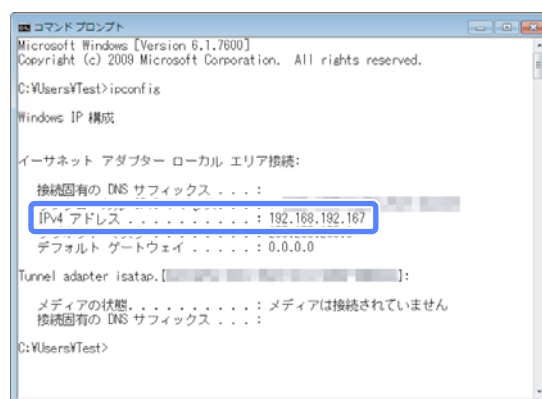
TCP/IP ネットワーク環境で、コンピューターに設定された IPv4 アドレスと本製品に設定した IPv4 アドレスを確認してから、コンピューターと本製品の通信ができているか確認します。

☞ 64 ページ「Windows で確認する」
☞ 66 ページ「Mac OS X で確認する」

Windows で確認する

1 **［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を開きます。**

2 **キーボードから［ipconfig］と入力して、［Enter］キーで実行します。**

3 **IP アドレスを確認します。**
「イーサネット　アダプター　ローカル エリア接続」の「IPv4 アドレス」を確認します。

4 **本製品の IP アドレスを確認します。**
IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
☞ プリンターのマニュアル

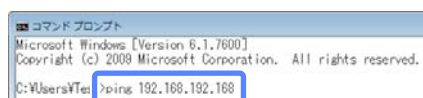
5 **キーボードから［ping］スペース［本製品の IP アドレス］を入力して、［Enter］キーで実行します。**

6 通信しているときは、図 1 のように［～からの応答：バイト数・・・］が表示されます。通信していないときは図 2 のように［～からの応答：宛先ホストに到達できません。］が表示されます。通信していないときは、各機器のネットワーク設定を確認してください。

図 1

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7600]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation.  All rights reserved.

C:¥Users¥Test>ping 192.168.192.168

192.168.192.168 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
192.168.192.168 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
192.168.192.168 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
192.168.192.168 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
```

図 2

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7600]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation.  All rights reserved.

C:¥Users¥Test>ping 192.168.192.168

192.168.192.167 からの応答: 宛先ホストに到達できません。
192.168.192.167 からの応答: 宛先ホストに到達できません。
192.168.192.167 からの応答: 宛先ホストに到達できません。
192.168.192.167 からの応答: 宛先ホストに到達できません。
```

以上で PING コマンドによる通信確認方法は終了です。

Mac OS X で確認する

1 アップルメニュー－［システム環境設定］の順にクリックします。

2 ［ネットワーク］をクリックして、［ネットワーク環境：］で［自動］が選択されていることを確認します。

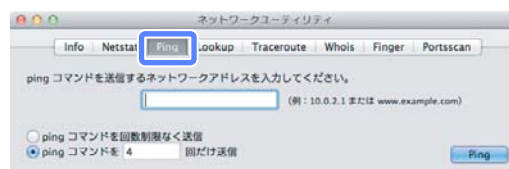
3 画面左側の項目からお使いのネットワーク（Ethernet など）を選択します。

4 ［IPv4 の構成］（または［構成］）からネットワーク環境に合わせた項目を選択します。
DHCP サーバーを使用している場合は［DHCP サーバを使用］（または［DHCP サーバを参照］）を選択し、IP アドレスを固定で使用している場合は［手入力］を選択します。

5 ［IP アドレス］を確認します。

Mac OS X v 10.5.x：
［IPv4 アドレス］を確認します。

6 ［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］－［ネットワークユーティリティ］の順にダブルクリックします。

7 ［Ping］タブをクリックします。

8 ネットワークアドレス入力欄に本製品の IP アドレスを入力します。
本製品の IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
☞ プリンターのマニュアル

9 ［Ping］をクリックします。

10 通信しているときは、送信した信号がすべて返信されるため、図 1 のように［0.0% packet loss］が表示されます。通信していないときは、送信した信号がすべて返信されないため、図 2 のように［100.0% packet loss］が表示されます。通信していないときは、各機器のネットワーク設定を確認してください。

図 1

図 2

以上で PING コマンドによる通信確認方法は終了です。